

議案第9号

県立学校の課程及び学科の設置に関し議決を求めることについて
次のとおり県立学校の課程及び学科を設置することについて、議決を求める。

1 県立高等学校の学科の設置

学校名	区 分	課程等	学科名	位 置
岩手県立水沢農業高等学校		全日制	食品科学科	奥州市

2 県立高等学校の課程の設置

学校名	区 分	課程等	学科名	位 置
岩手県立宮古高等学校		通信制	普通科	宮古市

3 設置の時期

平成30年4月1日

平成29年8月21日提出

岩手県教育委員会教育長 高橋 嘉行

理由

県立学校の課程及び学科を設置しようとするものである。これが、この議案を提出する理由である。

平成 30 年 度

県立学校の編制について

岩手県教育委員会

I 平成 30 年度 県立高等学校の編制について

1 課程別・学科別募集学級数及び募集定員

区 分			募 集 学 級 数			募 集 定 員		
			29 年度	30 年度	差	29 年度	30 年度	差
県 立	全 日 制	普通科・理数科 体育科	146	142	▲ 4	5,840	5,680	▲160
		職業に関する学科	77	74	▲ 3	3,080	2,960	▲120
		総合学科	30	29	▲ 1	1,200	1,160	▲40
		小 計	253	245	▲ 8	10,120	9,800	▲320
	定 時 制	普通科	13	13	0	520	520	0
		職業に関する学科	1	1	0	40	40	0
		小 計	14	14	0	560	560	0
合 計			267	259	▲ 8	10,680	10,360	▲320

2 ブロック別募集学級数増減

ブロック等	募集学級数 (全日制・ 定時制)	学 校 名	29年度設置 学 科 及 び 募 集 学 級 数	30年度設置 学 科 及 び 募 集 学 級 数	30年度学級数増減		
					学 科	増	減
盛岡	82→81 (全76、定5)	雫石高校	普通 2	普通 1	普通		▲1
岩手 中部	39→38 (全38、定0)	西和賀高校	普通 2	普通 1	普通		▲1
胆江	28→27 (全25、定2)	水沢農業高校	農業科学 1 生活科学 1 環境工学 1	農業科学 1 食品科学 1	生活科学 環境工学 食品科学	1	▲1 ▲1
両磐	27→26 (全25、定1)	一関第二高校	総合 6	総合 5	総合		▲1
気仙	17→16 (全15、定1)	大船渡高校	普通 5	普通 4	普通		▲1
釜石・ 遠野	19→17 (全16、定1)	釜石商工高校	機械 1 電子機械 1 電気電子 1 総合情報 2	機械 1 電気電子 1 総合情報 1	電子機械 総合情報		▲1 ▲1
宮古	22→22 (全21、定1)						
久慈	19→18 (全16、定2)	種市高校	普通 2	普通 1	普通		▲1
二戸	14→14 (全13、定1)						
合計	267 → 259 (全245定14)				普通 普通・理数 体育 農業 工業 商業 水産 家庭 総合 定時制	1	▲4 ▲2 ▲1 ▲1 ▲1
					計		1

3 学科改編

平成 30 年度の学科改編の状況は、次の表の通りである。

ブロック等	学校名	29年度設置 学科及び 募集学級数	30年度設置 学科及び 募集学級数	理由
胆江	水沢農業高校	農業科学 1 生活科学 1 環境工学 1	農業科学 1 食品科学 1	少子化による生徒減少に対応した魅力ある学科構成とするため、生徒の進路希望の動向や社会情勢の変化を踏まえた学科改編を行うものである。 農業科学科では県南地区の農業の特色・地域性を考慮し、作物、野菜、畜産、果樹、草花等の動植物に関することを学習内容とし、食品科学科では、発展が見込まれる6次産業化に対応する食品製造、フードデザイン、食品流通等に関することを学習内容とする。
釜石・遠野	釜石商工高校	機械 1 電子機械 1 電気電子 1 総合情報 2	機械 1 電気電子 1 総合情報 1	少子化による生徒減少に対応した学科構成とするため、生徒の進路希望の動向や地域産業のニーズを踏まえた学科改編を行うものである。 機械科では機械全般に関することに加え、これまで電子機械科で学んできた機械制御に関することも学習内容とする。

4 学校再編

新たな県立高等学校再編計画で、平成 30 年度の改編を計画した高校の状況は、次の表の通りである。

ブロック等	学校名	現行	改編内容	理由
宮古	宮古高校	全日制課程普通科 (6) 定時制課程普通科 (1)	全日制課程普通科 (6) 定時制課程普通科 (1) 通信制課程普通科	これまで、宮古高校（全日制、定時制）の校舎内に杜陵高校通信制課程宮古分室を設置し、宮古高校と杜陵高校通信制課程宮古分室はそれぞれ別の学校として運営していたが、杜陵高校通信制課程宮古分室を宮古高校通信制課程に再編することにより、通信制課程の生徒の学ぶ環境の改善が図られる。

5 年次進行に伴う県立高等学校の分校、課程及び学科の廃止

平成 30 年度に年次進行に伴う県立学校及び学科の廃止はない。

II 平成 30 年度 県立特別支援学校の編制について

平成 30 年度における編制の変更はない。

平成 30 年度学級編制について

1 平成 30 年度学科改編・学級減等の取扱いについて

- 1 平成 30 年度の学級編制については、原則として「新たな県立高等学校再編計画」（以下「再編計画」という。）に基づき、**学科改編・学級減を実施**する。ただし、ブロック内の中学校卒業予定者数や、各校の定員充足状況等に大きな変化があった場合には、実施時期等の変更も検討する。
- 2 入学者に**1 学級定員を上回る欠員が生じた場合には**、岩手県立高等学校の管理運営に関する規則（以下「管理運営規則」という。）第 3 条第 2 項の規定に基づき、**学級減を検討**する。

<再編計画関係>

- (1) 西和賀高校、水沢農業高校、一関第二高校、大船渡高校、釜石商工高校、種市高校については、再編計画のとおり**学科改編・学級減**を行う。
- (2) 葛巻高校については、今年度の定員充足状況、平成 30 年度の入学者推計等から**2 学級から 1 学級への学級減を延期**する。

<管理運営規則関係>

- (3) 雫石高校については、2 年連続で欠員が 40 人を超え、今後もその状況が続くと見込まれることから、**2 学級から 1 学級への学級減**を行う。

2 中学校卒業予定者数

平成 29 年 3 月 11,927 人 平成 30 年 3 月 11,380 人 (H29 比 ▲547 人)
 (ブロック毎の中学校卒業予定者数は 6 ページ参照)

3 平成 29 年度県立高校の募集定員と合格者数等

全日制 63 校 募集定員 10,120 人 合格者 8,673 人 欠員 1,447 人

4 平成 30 年度学校再編について

宮古高校に通信制課程を設置する。(杜陵高校通信制課程宮古分室を宮古高校通信制課程に再編)

5 平成 30 年度学級編制について

〔以下の表中 ※1 各校の入学者の H30 年度～H32 年度は推計値 (H27～H29 年度の入学状況による)
 ※2 再編計画策定時の推計値は H25～H27 年度の入試状況による〕

- (1) 再編計画において平成 30 年度に学科改編・学級減を予定している高校の取扱いについて
 - ア 学科改編・コース見直しを伴う学校

(ア) 西和賀高校 2 学級→1 学級 コース見直し

福祉は科目選択により学べるよう見直し

普通科
普通科 福祉・情報コース



普通科

年度	入学者の状況 (定員 80 人) () 過不足			入学者推計		
	H27	H28	H29	H30	H31	H32
西和賀高校の入学者 ^{※1}	25(▲55)	44(▲36)	29(▲51)	30	25	30
再編計画策定時の推計 ^{※2}		38	35	34	28	34
西和賀町内中学校卒業生数	41	45	38	39	25	39
北上市内中学校卒業生数	949	951	986	856	957	850

(イ) 水沢農業高校 3学級→2学級 学科改編
6次産業化に対応した学びができるよう改編

農業科学科
生活科学科
環境工学科



農業科学科
食品科学科

年度	入学者の状況(定員120人) () 過不足			入学者推計		
	H27	H28	H29	H30	H31	H32
水沢農業高校の入学者 ^{※1}	77(▲43)	68(▲52)	59(▲61)	65	64	62
再編計画策定時の推計 ^{※2}		91	89	86	85	85
胆江ブロック内中学校卒業生数(ブロック内定員1,040人)	1,314	1,313	1,254	1,231	1,168	1,178

(ウ) 一関第二高校 6学級→5学級 系列見直し
系列名から学習内容が分かるよう5系列に見直し

人文系列
自然系列
環境・ビジネス系列
福祉系列



人文系列
自然系列
環境・生活系列
ビジネス系列
福祉系列

年度	入学者の状況(定員240人) () 過不足			入学者推計		
	H27	H28	H29	H30	H31	H32
一関第二高校の入学者 ^{※1}	242(+2)	238(▲2)	216(▲24)	235	233	217
再編計画策定時の推計 ^{※2}		245	222	231	225	206
両磐ブロック内中学校卒業生数(ブロック内定員1,040人)	1,222	1,261	1,143	1,156	1,167	1,086

(エ) 釜石商工高校 5学級→3学級 学科改編(工業3→工業2、商業2→商業1)
これまで同様の学びができるよう改編

[工] 機械科
電子機械科
電気電子科
[商] 総合情報(2)



[工] 機械科
電気電子科
[商] 総合情報(1)

年度	入学者の状況(定員200人) () 過不足			入学者推計		
	H27	H28	H29	H30	H31	H32
釜石商工高校の入学者 ^{※1}	100(▲100)	138(▲62)	119(▲81)	102	105	93
再編計画策定時の推計 ^{※2}		125	109	99	105	93
釜石地区内中学校卒業生数	405	432	392	354	348	316

イ 学級減のみの学校

(ア) 大船渡高校 普通科5学級→4学級

年度	入学者の状況(定員200人) () 過不足			入学者推計		
	H27	H28	H29	H30	H31	H32
大船渡高校の入学者 ^{※1}	200(±0)	175(▲25)	200(±0)	169	166	158
再編計画策定時の推計 ^{※2}		174	174	156	158	150
大船渡市内中学校卒業生数	376	319	335	297	288	286
気仙ブロック内中学校卒業生数(ブロック内定員640人)	598	561	556	505	498	467
高田高校(定員200)の入学者 ^{※1}	164(▲36)	179(▲21)	144(▲56)	144	145	130
再編計画策定時の推計 ^{※2}		156	152	137	141	127
大船渡東高校(定員200)の入学者 ^{※1}	146(▲54)	119(▲81)	121(▲79)	112	109	106
再編計画策定時の推計 ^{※2}		133	136	121	122	117
住田高校(定員40)の入学者 ^{※1}	40(±0)	33(▲7)	33(▲7)	33	32	29
再編計画策定時の推計 ^{※2}		38	34	33	33	30

(イ) 種市高校 普通科 2 学級→1 学級

年度	入学者の状況(定員 120 人) () 過不足			入学者推計			
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
種市高校の入学者※ ¹	普通	52(▲28)	46(▲34)	32(▲48)	62	67	59
	海洋開発	31(▲9)	34(▲6)	32(▲8)			
再編計画策定時の推計※ ²		77	75	62	65	58	
旧種市町内中学校卒業生数	118	119	118	86	103	83	
洋野町内中学校卒業生数	187	181	167	138	155	131	

(ウ) 葛巻高校 普通科 2 学級→2 学級

年度	入学者の状況(定員 80 人) () 過不足			入学者推計		
	H27	H28	H29	H30	H31	H32
葛巻高校の入学者※ ¹	48(▲32)	41(▲39)	51(▲29)	43	36	29
再編計画策定時の推計※ ²		42	35	39	30	29
葛巻町内中学校卒業生数	50	49	40	45	35	29

(2) 管理運営規則に基づく学級数調整について

雫石高校 普通科 2 学級→1 学級

年度	入学者の状況(定員 80 人) () 過不足			入学者推計		
	H27	H28	H29	H30	H31	H32
雫石高校の入学者※ ¹	49(▲31)	40(▲40)	25(▲55)	35	33	33
再編計画策定時の推計※ ²		50	51	48	44	44
雫石町内中学校卒業生数	171	150	152	144	130	134

6 今後のスケジュール

- 9月 9月議会において、県立学校設置条例の一部改正案を提案（水沢農業高校の学科改編及び宮古高校通信制課程の設置）
- 10月 教育委員会定例会において、管理運営規則の改正、平成30年度県立高校入学者選抜要項を審議、決定

《参考》

1 前期再編プログラム総括表

計画期間(H28～H32 5年間)					
タイプ 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
専門高校					
総合的な 専門高校					宮古商業 宮古工業
普通科 専門 学科併置校					遠野 遠野緑峰
総合学科 専門 学科併置高校					久慈東 久慈工業
普通高校		※ 表外(2)のとおり			
学科改編 コース等見直し (学級減)			西和賀 水沢農業 一関第二 釜石商工	平館 花巻南 水沢工業 大船渡東 宮古水産	不来方 盛岡工業 紫波総合 花北青雲 北上翔南 一関工業 一戸
学級減		大槌 伊保内	葛巻 大船渡 種市	盛岡第四 前沢 大東 山田 大野 久慈 福岡	盛岡第三 盛岡北 一関第一 高田 釜石 宮古
全日制学校数	63	63	63	63	60
全日制学級数	255	253	245	233	216
(定時制)			宮古ブロック	盛岡ブロック	

- (1) 統合予定校では、地方創生に向けたそれぞれの地域の取組の推移や、平成 30 年度までの入学者の状況等の検証を行い、統合時期等について検討します。
- (2) 1 学年 1 学級の普通高校では、直近の入学者数が 2 年連続して 20 人以下となった場合には、原則として翌年度から募集停止とし、統合します。
- (3) 学科改編、学級減等は、原則として再編計画に基づき実施しますが、ブロック内の中学校卒業予定者数や、各校の定員充足状況等に大きな変化があった場合には、実施時期等の変更も検討します。

2 岩手県立高等学校の管理運営に関する規則（抄）

岩手県立高等学校の管理運営に関する規則（抄）

第 3 条 （略）

- 2 入学志願者の数が、生徒の募集に関する人員に満たない場合で、その不足する数が 1 学級の収容定員以上であるときは、別表第 1 から別表第 3 までに掲げる学級数を減ずることがある。

議案第 10 号

教育委員会の事務に係る点検及び評価に関し議決を求めることについて

教育委員会の事務に係る点検及び評価の結果を別添のとおりとすることについて、議決を求める。

平成 29 年 8 月 21 日提出

岩手県教育委員会教育長 高 橋 嘉 行

理由

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 1 項の規定に基づく教育委員会の事務の管理及び執行の状況について点検及び評価をし、並びにその結果に関する報告書を別添のとおりとし、併せて同項の規定に基づきこの報告書を議会に提出しようとするものである。これが、この議案を提出する理由である。

平成28年度
教育委員会事務点検評価報告書（案）
（主要施策の成果に関する説明書）

平成29年 8 月
岩手県教育委員会

目 次

いわて県民計画第3期アクションプラン[政策編]の取組と成果	議10-4
平成28年度教育委員会事務点検評価報告書の概要	議10-5
本書の見方	議10-7
政策Ⅴ 教育・文化～「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現	議10-10
政策項目No.24 児童生徒の学力向上	議10-12
政策項目No.25 豊かな心を育む教育の推進	議10-17
政策項目No.26 健やかな体を育む教育の推進	議10-21
政策項目No.27 特別支援教育の充実	議10-24
政策項目No.28 家庭・地域との協働による学校経営の推進	議10-28
政策項目No.29 生涯を通じた学びの環境づくり	議10-31
政策項目No.32 多様な文化の理解と国際交流	議10-33
政策項目No.38 安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備	議10-35
参考資料 平成28年度「教育委員会事務点検評価報告書」指標一覧表	議10-37

いわて県民計画

第3期アクションプラン[政策編]の 取組と成果

岩手県では、平成21年12月に、「いわて県民計画（長期ビジョン）」（計画期間：平成21年度～平成30年度）を策定し、平成28年2月にこの計画の第3期アクションプランとして、平成27年度～平成30年度の4年間を対象とした「いわて県民計画第3期アクションプラン[政策編]」を策定しました。

いわて県民計画第3期アクションプラン[政策編]は、「政策－施策－事業」の体系により計画を推進していくものであり、政策項目（政策）には「目指す姿指標」、目指す姿を達成するための具体的な推進方策（施策）には「具体的な推進方策指標」という数値目標を掲げています。

この報告書は、いわて県民計画第3期アクションプラン[政策編]で定めた目標がどれだけ達成できたかという視点で、教育委員会の平成28年度の事務事業の実績を評価したものであり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に定める教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価結果の報告書となるものです。

- ・ いわて県民計画第3期アクションプラン[政策編]の7つの政策のうち、V教育・文化について、また、42の政策項目のうち、教育委員会が所管する7つの政策項目（政策項目No. 24～No.29）及び他部局主管項目のうち、教育委員会関係部分（No.32・No. 38）について掲載しています。（他部局に係る記載部分は網掛けとしています。）
- ・ 目指す姿指標と推進方策指標の平成28年度実績に基づく「達成度」の考え方は、次のとおりです。

達成度の区分	年度目標達成度	■達成度 平成28年度にどれくらい達成したかを示す割合 ■達成度の計算方法 $\frac{(\text{H28実績値} - \text{H26現状値})}{(\text{H28目標値} - \text{H26現状値})} \times 100$ ※ 例外的に、基準値よりも数値を下げることを目標とする指標は、次の計算式で算出 $\frac{(\text{H26現状値} - \text{H28実績値})}{(\text{H26現状値} - \text{H28目標値})} \times 100$
達成 (A)	100%以上	
概ね達成 (B)	80%以上100%未満	
やや遅れ (C)	60%以上80%未満	
遅れ (D)	60%未満	

- ・ 数値を下げることを目標とする指標には、指標名の前に「▼」を表示しています。
- ・ 数値を維持することを目標とする指標には、指標名の前に「◆」を表示しています。
- ・ 指標によっては、実績値が確定していない、平成28年度目標値を設定していないなどの理由で、数値や達成度を「－」としている場合があります。

1 位置付け

- (1) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき県議会に提出する事務の管理・執行状況の点検評価結果報告書
- (2) 地方自治法第233条第5項の規定に基づき県議会に提出する決算附属書類

2 内容

平成28年2月に策定した「いわて県民計画」の第3期アクションプラン【政策編】を対象に、平成26年を基準年度（現状値）として、平成29年3月末時点の各指標の達成度を示すもの。（基準年度から見た年度目標に対する到達度）

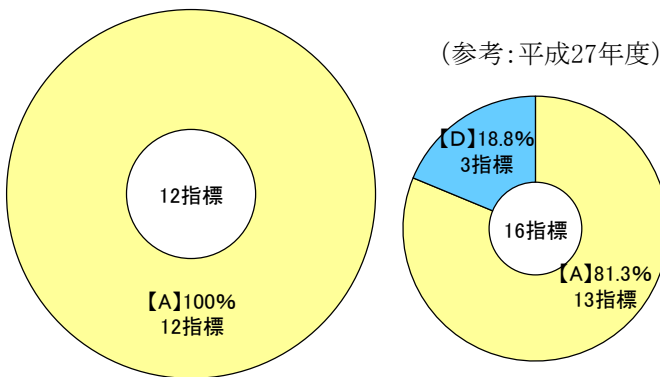
3 アクションプラン【政策編】の平成28年度の達成状況

- (1) 県民・NPO・企業等あらゆる主体が一体となって実現を目指す「みんなで目指す姿」を示した12（13）は **12指標全て「達成」と**なりました。〔※指標数の（ ）内は、未測定指標を含む全指標数〕
- (2) 県が主体となって具体に取り組む「具体的な推進方策」の51（58）の指標から見ると、**48指標・94.1%**が「概ね達成」以上となりました。〔※指標数の（ ）内は、未確定指標を含む全指標数〕

グラフの見方：「達成【A】」:100%以上、「概ね達成【B】」:80%以上100%未満、「やや遅れ【C】」:60%以上80%未満、「遅れ【D】」:60%未満

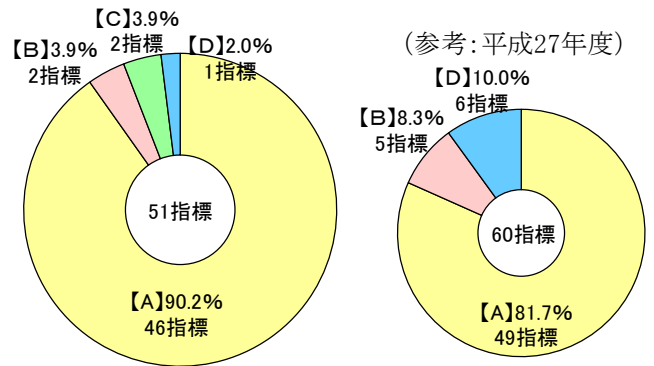
(1) 「みんなで目指す姿」指標の平成28年度達成状況

「達成【A】」: **12指標(100%)**



(2) 「具体的な推進方策」指標の平成28年度達成状況

- ① 「達成【A】」又は「概ね達成【B】」: **48指標(94.1%)**
- ② 「やや遅れ【C】」: **2指標(3.9%)**
- ③ 「遅れ【D】」: **1指標(2.0%)**

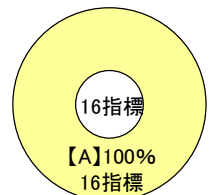


※ 「みんなで目指す姿」指標の〔政策項目No.25【豊かな心を育む教育の推進】「人の気持ちが分かる人間になりたいと思っている児童生徒の割合」は、文部科学省が行う全国学力・学習状況調査（対象小6、中3）において調査項目が削除されたことから、実績値を測定できませんでした。

4 教育委員会所管の政策項目の具体的な推進方策の状況

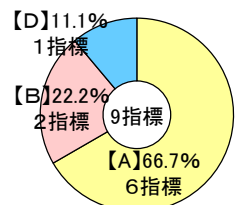
政策項目No.24【児童生徒の学力向上】

- ① 推進方策指標16指標は、全て「達成【A】」となりました。



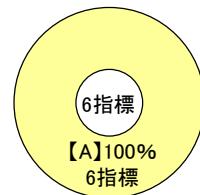
政策項目No.25【豊かな心を育む教育の推進】

- ① 推進方策指標9指標は、「達成【A】」が6指標、「概ね達成【B】」が2指標、「遅れ【D】」が1指標となりました。
- ② 遅れ【D】が見られる指標は、小学校の児童生徒の読書者率の向上（読書者率99.0%であるが、不読者への継続的な働きかけに時間を要するため）。



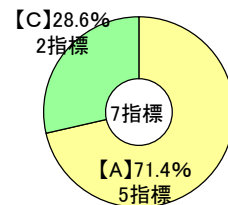
政策項目No.26【健やかな体を育む教育の推進】

① 推進方策指標6指標は、全て「達成【A】」となりました。



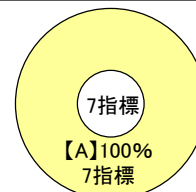
政策項目No.27【特別支援教育の充実】

- ① 推進方策指標7指標は、「達成【A】」が5指標、「やや遅れ【C】」が2指標となりました。
 ② やや遅れ【C】が見られる指標は、就学に向けた「支援ファイル」等を活用する市町村数（よりきめ細かい支援ファイルを作成することとして、その検討に時間を要した市町村があったため）、医療的ケア研修会に参加した看護師の割合（児童生徒に対する看護業務との調整がつかなかったため）。



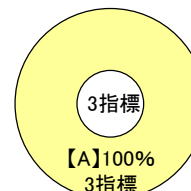
政策項目No.28【家庭・地域との協働による学校経営の推進】

① 推進方策指標7指標は、全て「達成【A】」となりました。



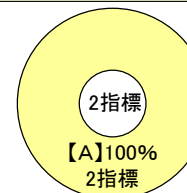
政策項目No.29【生涯を通じた学びの環境づくり】

① 推進方策指標3指標は、全て「達成【A】」となりました。



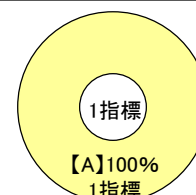
政策項目No.32【多様な文化の理解と国際交流】

① 推進方策指標2指標は、全て「達成【A】」となりました。



政策項目No.38【安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備】

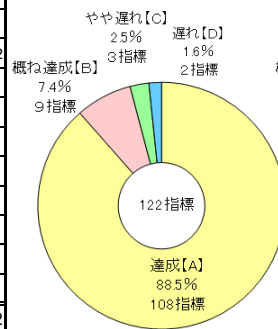
① 推進方策指標1指標（県立学校の耐震化率）は、「達成【A】」となりました。



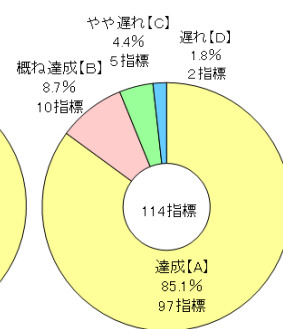
5 教育委員会所管の構成事業の状況

政策項目	活動内容指標					成果指標				
	A	B	C	D	未確定	A	B	C	D	未確定
18 安全・安心なまちづくりの推進	2					1	1			
24 児童生徒の学力向上	34	3				28	2			
25 豊かな心を育む教育の推進	16	1		1		14	1	1		2
26 健やかな体を育む教育の推進	6					5		1		
27 特別支援教育の充実	13					14				
28 家庭・地域との協働による学校経営の推進	12					11				
29 生涯を通じた学びの環境づくり	5					5				
31 文化芸術の振興	10	2				10	3			
32 多様な文化の理解と国際交流	2					2				
33 豊かなスポーツライフの振興	5	3	3			4	3	3	1	
38 安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備	3			1		3				1
122活動内容指標、116成果指標の内訳	108	9	3	2	0	97	10	5	2	2

活動内容指標

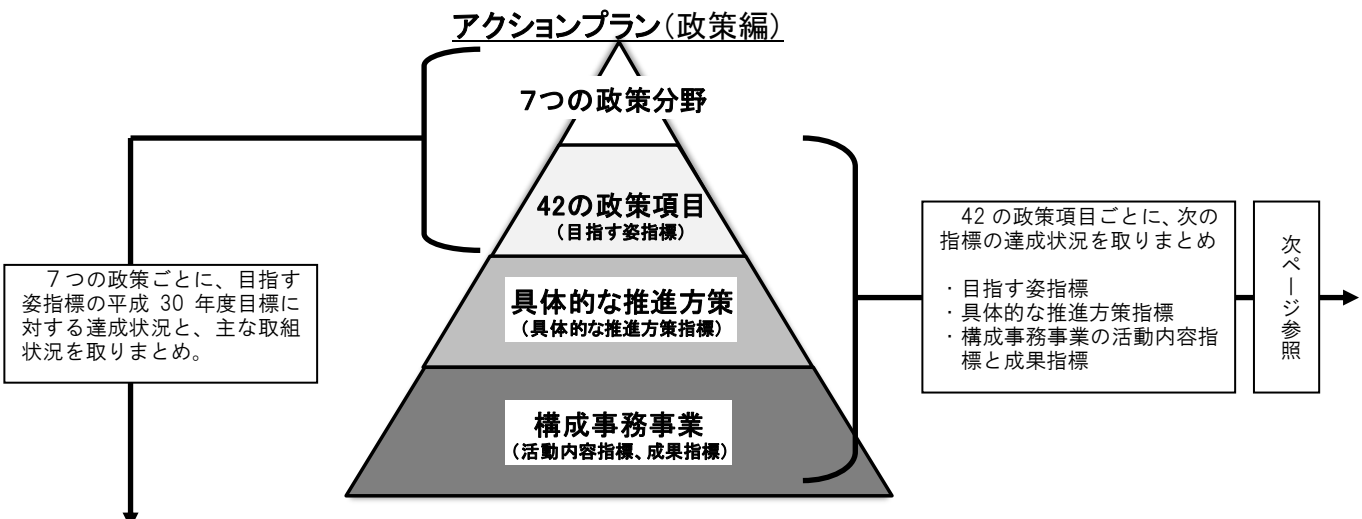


成果指標



本書の見方

本書では、いわて県民計画長期ビジョンに示した7つの政策と、それを構成する42の政策項目について、各種指標の達成状況や目指す姿の実現に向けた県の取組状況などの情報を掲載しています。



V 教育・文化～「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現～

平成30年度目標に対する目指す姿指標の達成状況

※棒グラフの見方は、4ページ参照。

指標名	達成状況 (H30目標)
学習定着度状況調査(小学5年生・中学2年生)及び基礎力確認調査(高校2年生)において、「授業の内容が分かる」と答えた児童生徒の割合	42.5
学校の学びを基に授業時間以外の学習に自主的に取り組む児童生徒の割合(小学5年生・中学2年生・高校2年生)	0.0 (▼1時間未満)
人の気持ちが分かる人間になりたいと思っている児童生徒の割合	▲7.5
自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合	55.0
体力・運動能力調査(5段階:A～E)のA・B・C段階の児童生徒の割合(小学5年生・中学校2年生)	66.7
「定期健康診断」の肥満度が正常の範囲内の児童生徒の割合(小学5年生・中学校2年生)	150.0
特別な支援を必要とする児童生徒について「個別的教育支援計画」を作成している学校の割合	▲10.5
特別支援学校における交流学習等により地域の学校との交流を行っている児童生徒数(延べ人数)	56.0
学校評価結果等を踏まえて学校運営方針や重点項目を見直し、組織的に学校経営の改善に取り組んでいる学校の割合	92.8
教育計画の中に様々な自然災害等に「見える」教育活動(防災教育)を具体的に取り入れて再構築した学校の割合	94.0
生涯学習リーダー登録者数(累計)	25.0
生涯学習に関する研修会等への参加者数	157.3
県内学卒者の県内就職率	0.0
県内市町村が高等教育機関と連携して行っている取組の件数(累計)	225.0
県内の公立文化施設における催事数	83.1
民府芸術ネットワーク加盟団体数	50.0
◆国際交流センター施設利用者数(利用者数/年)	24.8
スポーツ実施率(1回以上のスポーツ実施率)	▲43.7
▼国民体育大会天皇杯得点順位	25.0

○政策名
7つの政策の題名を記載

○指標名の▼
H26 現状値より数値を下げることを目標とする指標(マイナス指標)

○指標名の◆
H26 現状値を維持することを目標とする指標(維持指標)

○主な取組事項
7つの政策ごとの目指す姿を達成するために取り組んだ主な内容を取りまとめて記載

主な取組事項

- 国語・数学(算数)・英語を核とした学校組織全体の取組による児童生徒の学力向上
学校訪問や各種研修会等において、授業目標の設定例や授業改善計画等を示し、各学校の授業改善の取組を支援しました。
- 「いわてキャリア教育指針」に基づくキャリア教育の実践
「いわてキャリア教育の手引き」を活用するとともに、小中高校の教員を対象とした「いわてのキャリア教育実践研修講座」を開催し、本県にふさわしいキャリア教育を推進する体制づくりに取り組みました。
- 私立学校の特色ある教育活動の推進
私立学校がそれぞれの建学の精神に基づき実施する特色ある教育活動について、情報提供や助成等により、目標設定とその達成に向けた取組を支援しました。

○7つの政策に対応する目指す姿指標の指標名と、平成30年度の目標に対する進捗率(%)を表示

【進捗率の計算式】

- ・ 通常の指標 (H26 現状値から数値を上げる目標の場合)
 $(H28 \text{ 実績値} - H26 \text{ 現状値}) / (H30 \text{ 目標値} - H26 \text{ 現状値}) \times 100$
- ・ マイナス指標 (H26 現状値から数値を下げる目標の場合)
 $(H26 \text{ 現状値} - H28 \text{ 実績値}) / (H26 \text{ 現状値} - H30 \text{ 目標値}) \times 100$
- ・ 維持指標等 (H26 現状値を維持する目標等の場合)
 $(H27 \text{ 実績値} + H28 \text{ 実績値}) / (H27 \sim H30 \text{ 目標値の合算値}) \times 100$

※ 震災を踏まえた目標設定とした場合など、この計算式により難しい場合は、次の計算式により算出しています。
 $(H28 \text{ 実績値}) / (H30 \text{ 目標値}) \times 100$

政策項目No.29：生涯を通じた学びの環境づくり

1 みんなで目指す姿

県民一人ひとりが生涯にわたって自己実現を目指し、多様な機会を通じて学び、その学びの成果を生かすことが、生きがいがづくりにつながり心豊かな生活になるとともに、郷土いかに誇りをもち愛着を深めています。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) 学習活動を支援する環境の充実	2	479,403	464,302	223,486	240,816	0	0
(2) 生涯にわたる学習機会の充実	0	0	0	0	0	0	0

◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
65 生涯学習リーダー登録者数(累計)	人	730	810	750	750	A
66 生涯学習に関する研修会等への参加者数	人	6,194	7,000	6,400	7,462	A

- 生涯学習リーダー登録者数(累計)の達成度は【A】となりました。
- 生涯学習に関する研修会等への参加者数の達成度は【A】となりました。
- 具体的な推進方策指標3指標は、全て「達成」となりました。

特記事項

- 平成28年度県民意識調査によると、「自分に適した内容や方法で学べる環境」の重要度は30位、満足度は24位となり、ニーズ度は31位となっています。

3 目指す姿を達成するための取組(県の具体的な推進方策)

【推進方策指標の達成度】

達成【A】
100.0%
3指標

【平成30年度目標の達成に向けた推進方策指標の状況】 ※グラフの見方は、5ページ参照

指標	現状値	計画目標値	進捗率
生涯学習情報提供システム利用件数(システムトップページへのアクセス数)	486.0	500.0	97.2%
生涯学習・社会教育の推進に携わる関係職員の人材育成事業の満足度(参加者満足度4段階評価A「大いに満足」の割合)	25.3	80.0	31.6%
ボランティア等のネットワークを図る研修会の満足度	28.1	80.0	35.1%

(1) 学習活動を支援する環境の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H27)	実績値 (H27)	達成度
257 生涯学習情報提供システム利用件数(システムトップページへのアクセス数)	件	23,710	28,450	24,895	46,745	A
258 生涯学習・社会教育の推進に携わる関係職員の人材育成事業の満足度(参加者満足度4段階評価A「大いに満足」の割合)	%	-	80	80	81	A

- 生涯学習情報提供システム利用件数(システムトップページへのアクセス数)及び生涯学習・社会教育の推進に携わる関係職員の人材育成事業の満足度(参加者満足度4段階評価A「大いに満足」の割合)の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標				成果指標						
				指標名	単位	計画値	実績値	達成度	KPI	指標名	単位	計画値	実績値	達成度
復・総	字	字を通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業費【生涯学習文化課】	223,486	学校支援地域本部数	本部	45	45	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	91.2	92.0	A	153
		指導者等の研修会の開催回数(累計)	回	27	27	A	中学生の学習支援施設設置箇所数	箇所	19	20	A	-		
		学校、家庭、地域の連携による促進委員会の開催回数(累計)	回	18	18	A	-	-	-	-	-			
復・総	い	いわての学び希望基金奨学金給付事業費【教育企画室】	240,816	委託事業実施市町村数	市町村	30	30	A	「いわての学び希望基金」を原資とする奨学金の給付率	%	100	100	A	152

◎推進方策指標の達成度

推進方策指標の達成度ごとの構成比と指標数を円グラフで表示
※構成比は、端数四捨五入の計算のため、100%にならない場合があります。

【達成度の計算式】

・通常の指標(H26現状値から数値を上げる目標)
 $(H28 \text{ 実績値} - H26 \text{ 現状値}) / (H28 \text{ 目標値} - H26 \text{ 現状値}) \times 100$

・マイナス指標(H26現状値から数値を下げる目標)
 $(H26 \text{ 現状値} - H28 \text{ 実績値}) / (H26 \text{ 現状値} - H28 \text{ 目標値}) \times 100$

・維持指標等(H26現状値を維持する目標等)
 $(H28 \text{ 実績値}) / (H27 \text{ 目標値等}) \times 100$

※ 震災を踏まえた目標設定とした場合など、この計算式により難しい場合は、次の計算式により算出。
 $(H28 \text{ 実績値}) / (H28 \text{ 目標値}) \times 100$

○政策項目名
42の政策項目の題名を記載

○みんなで目指す姿
県民の皆さんとともに目指す政策項目の目標(H30までに目指す状態)を記載

○投入コスト
「みんなで目指す姿」の実現に向けて、県が実施した具体的な推進方策に係る投入コストを記載
・事業数：各推進方策を構成する事業数
・予算額：平成28年度最終予算額
・決算額：平成28年度決算額
・決算額の財源内訳
国庫：国庫補助金等
その他：使用料及び手数料、財産収入等
県債：県が発行する債券
一般：一般財源

○目指す姿指標
県民の皆さんとともに目指す政策項目の最終成果目標

○説明欄
政策項目の取組状況について、指標データ等により説明

○特記事項
関連する社会経済情勢や県民意識調査結果など、当該政策項目を取り巻く状況について記載

○具体的な推進方策指標の指標名と、平成30年度の目標に対する進捗率(%)を表示

【進捗率の計算式】
①通常の指標(H26現状値から数値を上げる目標)
 $(H28 \text{ 実績値} - H26 \text{ 現状値}) / (H30 \text{ 目標値} - H26 \text{ 現状値}) \times 100$
②マイナス指標(H26現状値から数値を下げる目標)
 $(H26 \text{ 現状値} - H28 \text{ 実績値}) / (H26 \text{ 現状値} - H30 \text{ 目標値}) \times 100$
③維持指標等(H26現状値を維持する目標等)
 $(H27 \text{ 実績値} + H28 \text{ 実績値}) / (H27 \sim H30 \text{ 目標値の合算値}) \times 100$
※ 震災を踏まえた目標設定とした場合など、この計算式により難しい場合は、次の計算式により算出。
 $(H28 \text{ 実績値}) / (H30 \text{ 目標値}) \times 100$

○具体的な推進方策名
目指す姿を達成するため、県が主体となって取り組む具体的な推進方策名を記載

○具体的な推進方策指標
具体的な推進方策の目標(成果指標)

○説明欄
具体的な推進方策の取組状況について、指標データ等により説明

○推進方策を構成する事業実績
具体的な推進方策を構成する事務事業の投入コストや活動実績、成果指標の状況について掲載

・区分
主要事業の再掲の場合、「再」と記載
・計画関連

復興実施計画に掲げられる事業については「復」、総合戦略におけるプロジェクト構成事業については「総」と記載

・事業名
事業名と担当課を記載
・決算額
28年度決算額を記載

・活動内容指標
事業の活動内容を示す指標
達成度=実績値/計画値×100

・成果指標
事業の成果を示す指標
達成度=実績値/目標値×100

・KPI
指標が総合戦略で定めるKPI(重要業績評価指標)である場合、そのNoを記載

参考1：達成度の判定区分

目標達成率	100%以上	80%以上 100%未満	60%以上 80%未満	60%未満
達成度	達成【A】	概ね達成【B】	やや遅れ【C】	遅れ【D】

※ 実績値が未確定等の場合は「-」と表示しています。

※ 具体的な推進方策指標と事務事業の成果指標が同じ場合がありますが、両者の計算式は異なる（具体的推進方策指標は H26 現状値を踏まえ計算しているが、事務事業の成果指標は H28 の実績値と目標値のみから計算）ため、達成度の評価が同一とならない場合があります。

参考2：本説明書で用いる記号

- 指標名等で用いる記号
 - 「▼」：H26 現状値から数値を下げることを目標とする指標（マイナス指標）
 - 「◆」：H26 現状値等を維持することを目標とする指標（維持指標）
（記号を付していないものは、H26 現状値から数値を上げることを目標とする指標（通常の指標）を示す）
- 達成状況のグラフで用いる記号
 - 「▲」：実績値がH26 現状値を下回っている（マイナスになっている）割合

参考3：岩手県ふるさと振興総合戦略で定めるKPI(重要業績成果指標)について

目指す姿指標、具体的な推進方策指標及び構成事業の活動内容指標・成果指標が、総合戦略で定めるKPIを兼ねている場合、次の箇所に総合戦略のKPIのナンバーを記載しています。

○ 目指す姿指標、具体的な推進方策指標の場合

参考資料 平成28年度「教育委員会事務点検評価報告書」指標一覧表に記載。

指標No.	政策項目	目指す姿指標（主指標◎）	単位	H26 現状	H28			
					目標	実績	達成度	KPI
目指64	No.28家庭・地域との協働による学校経営の推進	教育計画の中に様々な自然災害等に「そなえる」教育活動（防災教育）を具体的に取り入れて再構築した学校の割合	%	-	80	100	A	146
推進255	(3)実践的な防災教育（【そなえる】）を中核とした「いわての復興教育」の推進	「いわての復興教育」に取り組んでいる学校の割合	◆ %	100	100	100.0	A	145

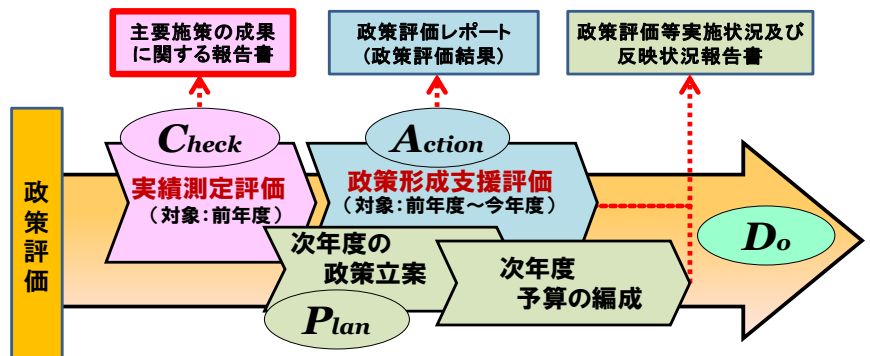
○ 構成事業の活動内容指標・成果指標の場合

本文中の推進方策を構成する事業実績に記載。

区分	計画関連	事業名	決算額(千円)	活動内容指標				成果指標						
				指標名	単位	計画値	実績値	達成度	KPI	指標名	単位	目標値	実績値	達成度
再	復・総	学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業費【生涯学習文化課】	(174,919)	指導者等の研修会の開催回数(累計)	回	30	30	A	教課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	91.4	93.1	A	153
				学校、家庭、地域の連携による促進委員会の開催回数(累計)	回	20	20	A		中高生の学習支援設置箇所数	箇所	15	15	A

参考4：本書の位置付けについて

本報告書は政策評価のマネジメントサイクルのうち、「実績測定評価」部分の結果を取りまとめたものです。本報告書の内容を踏まえ、年度後半に実施する「政策形成支援評価」において、今回取りまとめた指標データの結果だけでは表すことのできない課題や県民意識等も含めた詳細な分析を行い、これを今後の施策・事業に反映させていきます。

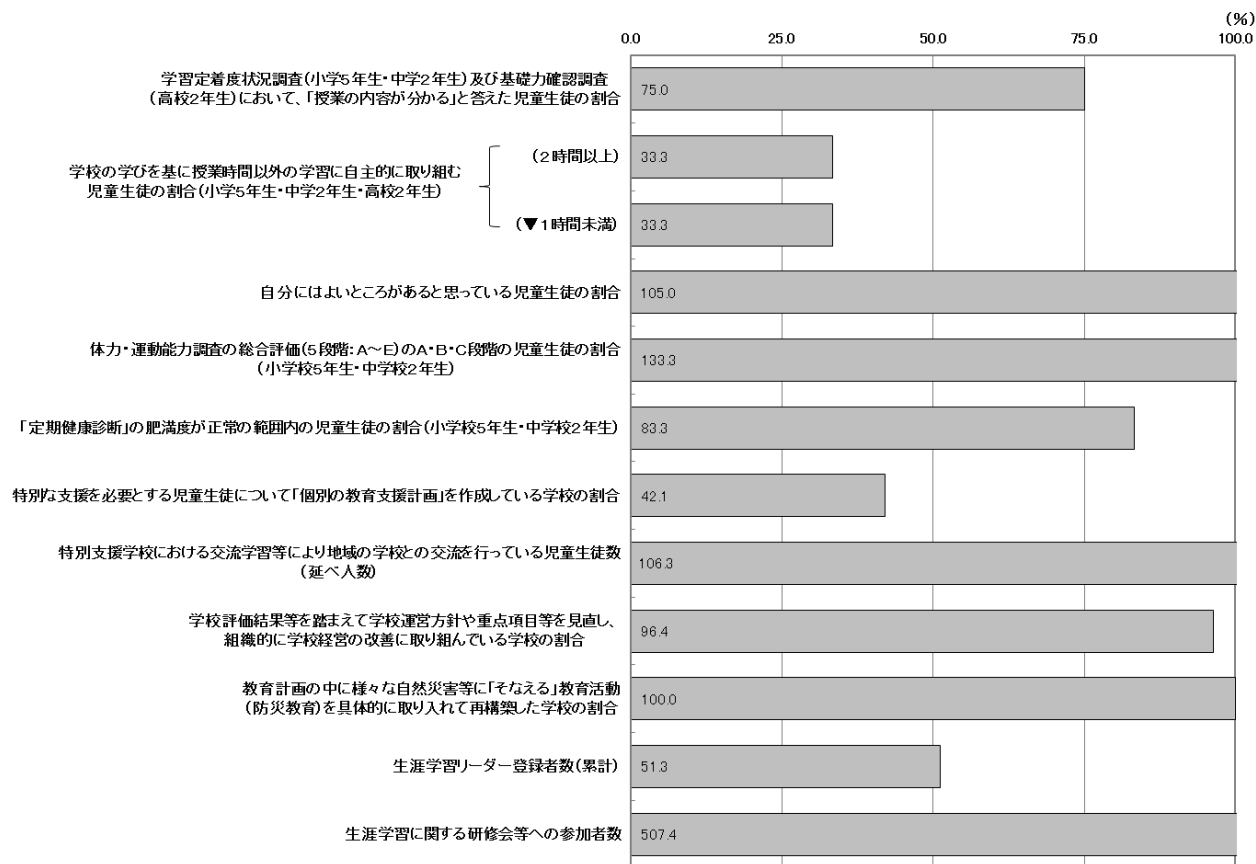


V 教育・文化～「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現～

平成30年度目標に対する目指す姿指標の達成状況

※ 棒グラフの見方は、7ページ参照。

H30目標



【未確定指標】

- 人の気持ちがかかる人間になりたいと思っている児童生徒の割合

主な取組事項

■国語・数学(算数)・英語を核とした学校組織全体の取組による児童生徒の学力向上

学校訪問や各種研修会等において、授業目標の設定例や授業改善計画等を示し、各学校の授業改善の取組を支援しました。

■「いわてキャリア教育指針」に基づくキャリア教育の実践

「いわてキャリア教育の手引き」を活用するとともに、小中高校の教員を対象とした「いわてのキャリア教育実践研修講座」を開催し、本県にふさわしいキャリア教育に取り組みました。

■道徳教育、体験活動・読書活動等の推進

小中学校教育課程協議会等で、道徳の教科化に向けた「考え、議論する」道徳教育の改善の方針等について説明するとともに、道徳教育の充実のための重点を示し、学校の組織的な取組を支援しました。

また、読書ボランティアや図書館・学校関係者等が対象の研修会を開催し、スキルアップや相互の連携・協力による読書環境整備を推進するとともに、ブックリストの作成・配布や取組事例を紹介するなど、児童生徒の主体的、意欲的な読書活動の推進に取り組みました。

■いじめなどに対応した教育相談機能の充実

いじめや不登校の未然防止や発生したいじめに対する適切な対応を図るため、各教育事務所に配置しているスクールソーシャルワーカーの増員を行い、関係機関等と連携した教育相談体制の充実に取り組みました。

■指導者の資質向上・授業力向上

体力向上や授業改善、運動部活動に係る各種研修会等を開催し、児童生徒に運動やスポーツの楽しさを味わってもらうことの重要性について共通理解を図るとともに、効果的な指導の普及に取り組みました。

■県民と協働した特別支援教育体制づくり

特別支援学校において県民を対象としたボランティア養成講座を開講し、特別支援ボランティアの登録者を増やすとともに、各校種でのボランティア活用に取り組みました。

■実践的な防災教育（【そなえる】）を中核とした「いわての復興教育」の推進

「いわての復興教育」プログラム（改訂版）に基づいた復興教育副読本「いきる かかわる そなえる」を活用した防災教育（【そなえる】）の授業を実践するなどの「いわての復興教育」を推進できるように、各学校の取組を支援しました。

■生涯にわたる学習機会の充実

生涯にわたる学習機会の充実のため、学びの情報提供や啓発活動、地域人材の育成や活用を図るとともに、被災した社会教育施設の復旧支援に取り組みました。

V 教育・文化

政策項目No.24：児童生徒の学力向上

1 みんなで目指す姿

各学校においてわかりやすい授業が行われることにより、児童生徒一人ひとりに基礎・基本が定着し、これを基盤として、思考力・判断力・表現力や主体的に学ぶ態度が育まれています。

さらには、目指す進路を実現できる知識や技能を習得し、自立した社会人になっていくために必要な総合力が身に付いています。

注) 基礎・基本が定着…知識・技能の習得とそれを活用する力、物事をしっかり考える力が身に付くこと

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) 国語・数学(算数)・英語を核とした学校組織全体の取組による児童生徒の学力向上	11	216,279	212,723	11,450	451	0	200,822
(2) 授業改善の推進と家庭学習の充実	5	416,767	413,972	105,316	2,756	0	305,900
(3) 特色ある教育課程の編成	1	3,097	2,802	2,802	0	0	0
(4) 「いわてキャリア教育指針」に基づくキャリア教育 ^{※1} の実践	3	12,663	11,339	0	0	0	11,339

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H28)	実績値 (H28)	達成度	
						(H27)	(H27)
54 学習定着度状況調査(小学校5年生・中学校2年生)及び基礎力確認調査(高校2年生)において、「授業の内容が分かる」と答えた児童生徒の割合	%	69	73	71	72	A	A
55 学校の学びを基に授業時間以外の学習に自立的に取り組む児童生徒の割合(小学校5年生・中学校2年生・高校2年生)2時間以上	%	18	21	19	19	A	A
56 学校の学びを基に授業時間以外の学習に自立的に取り組む児童生徒の割合(小学校5年生・中学校2年生・高校2年生)1時間未満	%	39	36	38	38	A	A

- 学習定着度状況調査(小学校5年生・中学校2年生)及び基礎力確認調査(高校2年生)において、「授業の内容が分かる」と答えた児童生徒の割合の達成度は【A】となりました。(小学校87%、中学校69%、高等学校60%)
- 学校の学びを基に授業時間以外の学習に2時間以上自立的に取り組む児童生徒の割合及び1時間未満の児童生徒の割合(小学校5年生・中学校2年生・高校2年生)の達成度は【A】となりました。(前段：小学校17%、中学校21%、高等学校20%/後段：小学校32%、中学校33%、高等学校50%)
- 具体的な推進方策指標20指標は、達成度未確定の2指標を除き、全て「達成」となりました。

特記事項

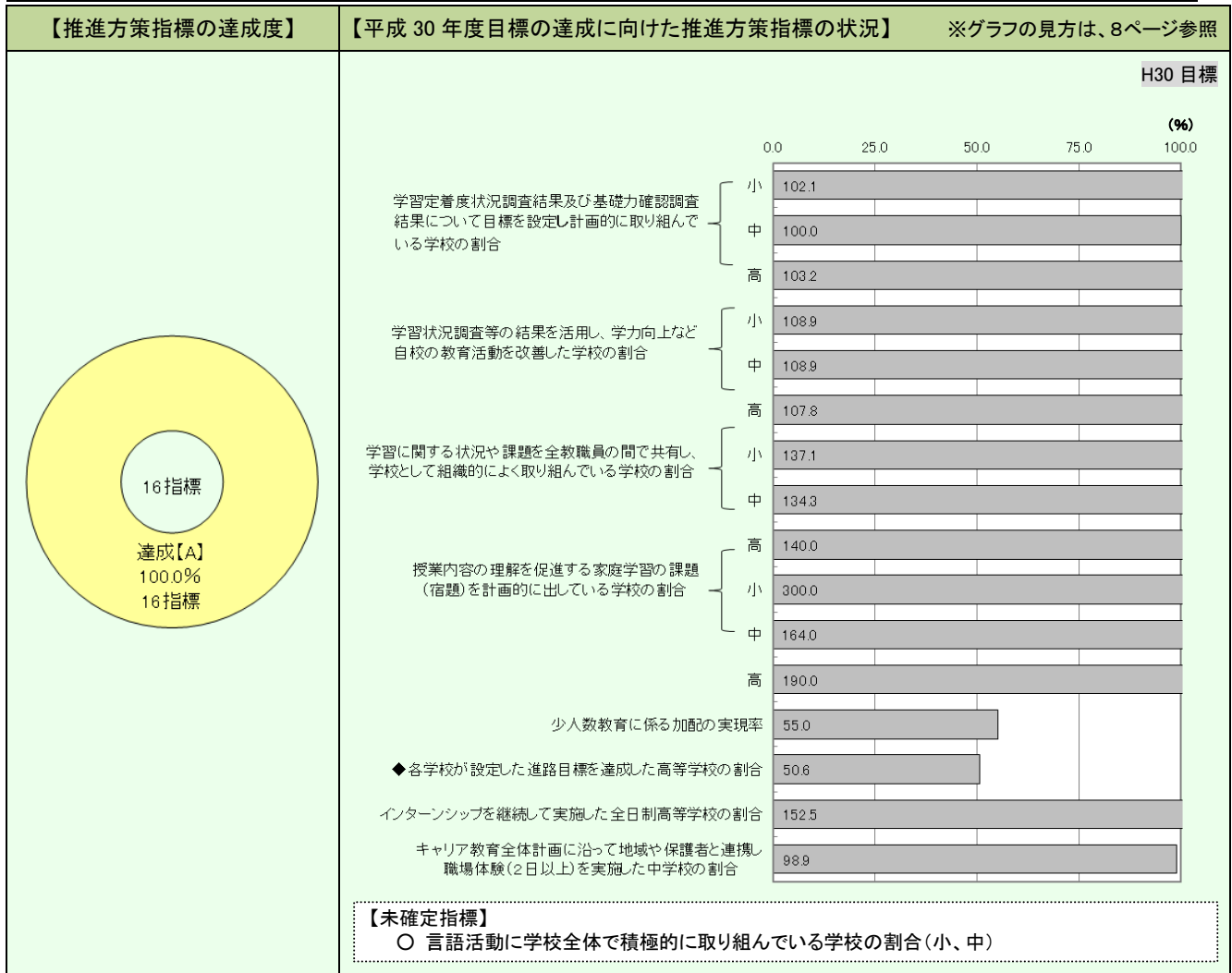
- 平成29年県民意識調査によると、「子どもの学力向上に向けた教育」の重要度は20位、満足度は17位となり、ニーズ度は21位となっています。

【用語解説】

※1 キャリア教育

児童生徒が自己の在り方・生き方を考え、主体的に進路を選択し、社会人・職業人として自立するための能力を学校教育活動全体で計画的・組織的に育むこと。

3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的な推進方策）



(1) 国語・数学（算数）・英語を核とした学校組織全体の取組による児童生徒の学力向上

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H28)	実績値 (H28)	達成度	
						(H27)	
201	%	小-	95	95	97	A	A
202		中-	95	93	95	A	A
203		高-	95	95	98	A	B

- 学習定着度状況調査結果及び基礎力確認調査結果について目標を設定し計画的に取り組んでいる学校の割合は、小学校、中学校、高校のいずれも【A】となりました。計画目標値を達成していますが、取組が後退した学校もあることから、今後はすべての学校での取組となるよう進めます。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標					
				指標名	単位	平成28年度			KPI	指標名	単位	平成28年度		
						計画値	実績値	達成度				目標値	実績値	達成度
		外国青年招致事業費(外国語指導助手(ALT)招致事業)【学校教育室】	54,627	外国語指導助手(ALT)の招致人数	人	12	12	A	ALTが週1回以上授業した県立学校の割合	%	19	19	A	
				—	—	—	—	—	ALTの授業実施校数	校	15	15	A	
		いわて進学支援ネットワーク事業費【学校教育室】	16,764	東大対策講座への参加校数(3年生)	校	5	9	A	東大対策講座の受講者数(3年生)	人	50	66	A	
				医学部進学セミナーへの参加校数(1,2年生)	校	10	16	A	医学部進学セミナーの受講者数(1,2年生)	人	100	134	A	
				二次重視大学対策講座への参加校数(3年生)	校	24	24	A	二次重視大学対策講座の受講者数(3年生)	人	470	578	A	
				センター重視大学対策講演会への参加校数(1・2年生)	校	40	58	A	センター重視大学対策講演会の受講者数(1・2年生)	人	420	778	A	
		外国語教育推進事業費【学校教育室】	125,531	業務委託の外国語指導助手(NS)の委託人数	人	26	26	A	NSが週1回以上授業した県立学校の割合	%	81	81	A	
				—	—	—	—	—	NSの授業実施校数	校	63	63	A	
		中高連携英語力向上推進事業費【学校教育室】	394	中学校英語教員研修会	回	1	6	A	研修会を受講する中学校教員数	人	80	160	A	
				英語ディベート研修会	回	1	1	A	研修会を受講する高校教員数	人	20	32	A	
		中高連携数学学力向上推進事業費【学校教育室】	2,307	研修会開催回数	回	8	9	A	研修会に参加した中高教員の延べ人数	人	500	540	A	
		指導運営費(原子力・エネルギー教育支援事業)【学校教育室】	4,402	指導力向上研修回数	回	6	6	A	指導力向上研修を受講した教員数	人	80	190	A	
		指導運営費(英語力等外国語能力強化事業)【学校教育室】	2,026	改善研修会の開催回数	回	6	6	A	改善研修会を受講する高校教員の数	人	100	100	A	
				英語教育推進リーダー研修会の開催回数	回	9	9	A	英語教育推進リーダー研修会を受講する教員数	人	120	120	A	
		指導運営費(英語教育強化地域拠点事業)【学校教育室】	1,716	小学校英語研修会の開催回数	回	3	4	A	小学校英語研修会に参加した教員数	人	100	100	A	
		指導運営費(理数系人材育成事業)【学校教育室】	374	科学の甲子園ジュニア県大会実施回数	回	1	1	A	参加した中学校数	校	7	11	A	
		指導運営費(遠隔授業推進事業)【学校教育室】	4,186	遠隔教育システムを活用した課外授業実施回数	回	6	5	B	遠隔授業を肯定的に捉えた生徒・教員の割合	%	70	80	A	
		指導運営費(課外学習充実事業)【学校教育室】	396	補習学習実施回数	回	20	78	A	補習学習を実施し成果があったと感じた生徒の割合	%	60	80	A	

(2) 授業改善の推進と家庭学習の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H28)	実績値 (H28)	達成度		
						(H27)	(H27)	
204	%	学習状況調査等の結果を活用し、学力向上などの自校の教育活動を改善した学校の割合	小-	90	84	98	A	
205		中-	90	84	98	A		
206		高-	90	84	97	A		
207	%	学習に関する状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的によく取り組んでいる学校の割合	小-	70	60	96	A	
208		中-	70	50	94	A		
209		高-	70	50	98	A		
210	%	授業内容の理解を促進する家庭学習の課題(宿題)を計画的に出している学校の割合	小	93	95	94	99	A
211			中	90	95	93	98.2	A
212			高	93	95	94	96.8	A
213	%	言語活動※2に学校全体で積極的に取り組んでいる学校の割合	小	26	34	30	-	A
214			中	19	32	25	-	A
215	%	少人数教育に係る加配の実現率	84.0	88.0	86.0	86.2	A	

- 学習状況調査等の結果を活用し、学力向上などの自校の教育活動を改善した学校の割合は、小学校、中学校、高校のいずれも達成度は【A】となりました。計画目標値を達成していますが、取組が一過性に終わらず継続して実行されるよう、引き続き取組を推進します。
- 学習に関する状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的によく取り組んでいる学校の割合は、小学校、中学校、高校のいずれも達成度は【A】となりました。計画目標値を達成していますが、取組が定着するために、自校の現状に合った課題解決に向けた検証改善サイクルを構築するよう、関係機関と共通理解を図りながら、取組を継続します。
- 授業内容の理解を促進する家庭学習の課題(宿題)を計画的に出している学校の割合は、小学校、中

学校、高校のいずれも達成度は【A】となりました。計画目標値を達成していますが、学校での取組を継続しながら課題（宿題）の充実が図られるよう取り組みます。

- 言語活動に学校全体で積極的に取り組んでいる学校の割合は、文部科学省の全国学力・学習状況調査結果公表が未了のため、実績値を測定できませんでした。
 なお、学習指導要領で求められている言語活動の充実の趣旨について改めて各学校に対して周知を図り、学校全体での取組の推進に取り組みました。
- 少人数教育に係る加配の実現率の達成度は【A】となりました。

【用語解説】

※2 言語活動

学習活動における言語による様々な活動のこと。例えば、体験から感じ取ったことを言葉や歌、絵、身体などを用いて表現したり、概念・法則などを解釈し、言葉や数式、図などを用いて説明したりすること。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標						成果指標					
				指標名	単位	平成28年度			KPI	指標名	単位	平成28年度			KPI
						計画値	実績値	達成度				目標値	実績値	達成度	
		教職員研修費(授業力向上研修)【学校教育室】	5,021	枝種ごと実施講座	講座	8	8	A		研修受講者の満足度	%	100	100	A	
				-	-	-	-		知識・技能の習得結果について十分達成したと評価した受講者割合	%	70	98.7	A		
		基礎学力向上プラン事業費【学校教育室】	2,118	県立学校における基礎力確認調査の実施	%	100	100	A		調査結果を活用した指導改善に取り組んだ学校の割合	%	100	100	A	
		指導運営費(学力向上対策推進事業)【学校教育室】	15,051	学力調査等の実施(学年ごと、実施教科の延べ数)	教科	11	11	A		◆報告書を活用した指導改善に取り組んだ学校の割合	%	100	100	A	
		すこやかサポート推進事業費【教職員課】	174,095	小学校で30人を超える学級を有し、少人数加配のない学校への非常勤講師配置率	%	100	100	A		生徒指導面での改善率	%	90	90	A	
				14～16人複式学級への非常勤講師配置率	%	100	100	A		学習指導面での改善率	%	90	90	A	
				学習課題に積極的に取り組もうとする学校への非常勤講師配置率	%	100	100	A		-	-	-	-		
				生徒指導面において課題のある学校への非常勤講師配置率(H28はモデル校方式)	%	100	100	A		-	-	-	-		
				小学校で30人を超える学級を有し、少人数加配のない学校への非常勤講師配置人数	人	21	20	B		-	-	-	-		
				14～16人複式学級への非常勤講師配置人数	人	36	35	B		-	-	-	-		
				学習課題に積極的に取り組もうとする学校への非常勤講師配置人数	人	26	28	A		-	-	-	-		
				生徒指導面において課題のある学校への非常勤講師配置人数(H28はモデル校方式)	人	12	12	A		-	-	-	-		
		総 教職員費(学校生活サポート推進事業)【教職員課】	217,687	生徒指導面の課題に重点的に取り組む必要がある学校への非常勤講師等配置率	%	100	100	A		生徒指導面での改善率	%	85	85	A	
				学習指導面の課題に重点的に取り組む必要がある学校への非常勤講師等配置率	%	100	100	A		学習指導面での改善率	%	85	85	A	
				生徒指導面の課題に重点的に取り組む必要がある学校への非常勤講師等配置人数	人	68	68	A		-	-	-	-		
				学習指導面の課題に重点的に取り組む必要がある学校への非常勤講師等配置人数	人	47	47	A		-	-	-	-		

(3) 特色ある教育課程の編成

◎具体的な推進方策指標

216	各学校が設定した進路目標を達成した高等学校の割合	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H28)	実績値 (H28)	達成度	
							A	(H27)
		%	97	95	95	95.3	A	A

- 各学校が設定した進路目標を達成した高等学校の割合の達成度は【A】となりました。

◎推進方を構成する事業実績

区分	計画 関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標						
				指標名	単位	平成28年度			KPI	指標名	単位	平成28年度			KPI
						計画値	実績値	達成度				目標値	実績値	達成度	
		指導運営費(消費者教育授業実践推進事業)【学校教育室】	2,802	校内研修会の実施回数	回	1	1	A		消費者教育を授業で実践した教科数	教科	1	1	A	

(4) 「いわてキャリア教育指針」に基づくキャリア教育の実践

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H28)	実績値 (H28)	達成度	
						A	(H27)
217 インターンシップ※3を継続して実施した全日制高等学校の割合	%	78	82	80	84.1	A	A
218 キャリア教育全体計画に沿って地域や保護者と連携し職場体験(2日以上)を実施した中学校の割合	%	-	80.0	79.0	79.1	A	A

- インターンシップを継続して実施した全日制高等学校の割合及びキャリア教育全体計画に沿って地域や保護者と連携し職場体験(2日以上)を実施した中学校の割合の達成度は【A】となりました。インターンシップを継続して実施した全日制高等学校の割合は計画目標値を達成していますが、全ての学校が実施するよう促進していきます。

【用語解説】

※3 インターンシップ

生徒が在学期間中に自分の学習内容や進路に関連した就業体験をすること。

◎推進方を構成する事業実績

区分	計画 関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標						
				指標名	単位	平成28年度			KPI	指標名	単位	平成28年度			KPI
						計画値	実績値	達成度				目標値	実績値	達成度	
総		キャリアアップサポート推進事業費補助【学校教育室】	1,000	産業教育振興会への補助件数	件	1	1	A		産業教育振興会による支援件数	件	16	14	B	
総		学校・地域の協働によるキャリア教育推進事業費【学校教育室】	4,544	企業見学実施支援学校数	校	6	6	A		職場インターンシップを実施した高等学校の割合	%	84.8	84.6	B	
総		いわて未来創造人サポート事業費【学校教育室】	5,795	職場見学・学校訪問等の進路指導実施校	校	15	15	A		◆事業目的の成果があった学校割合(評価ランクB以上の学校割合)	%	100	100	A	
	地域に係るものづくり体験学習実施校数			校	13	13	A	-	-		-				
	地域理解、世代・校種間交流活動実施校数			校	18	18	A	-	-		-				

V 教育・文化

政策項目No.25：豊かな心を育む教育の推進

1 みんなで目指す姿

児童生徒一人ひとりが心の教育や体験活動等を通じて、好ましい人間関係を築ける協調性や相手を思いやる気持ち、自他の生命を尊重するなどの基本的な道徳性を身に付け、学校生活に適應するなど、社会人として自立して生きていくための生活基礎力を身に付けています。

また、東日本大震災津波により、心にダメージを受けた子どもたちへの心のサポートが適切になされ、子どもたちが自己有用感や基本的な道徳性を身に付けているほか、東日本大震災津波の経験を踏まえ、発災前よりもよい地域をつくっていくという大きな志をもって前向きに力強く活動しています。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) 道徳教育、体験活動・読書活動等の推進	3	2,888	2,474	2,199	0	0	275
(2) 家庭・地域との協働の充実	1	2,928	2,927	0	0	0	2,927
(3) いじめなどに対応した教育相談機能の充実	1	17,007	16,687	16,687	0	0	0
(4) 幼児児童生徒の心のサポートの充実	5	314,245	308,230	303,666	1,400	0	3,164
(5) 情報モラル教育の推進	1	360	335	335	0	0	0

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H28)	実績値 (H28)	達成度	
						(H27)	(H27)
57 人の気持ちが分かる人間になりたいと思っている児童生徒の割合	%	75.0	79.0	77.0	—	—	D
58 自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合	%	65.0	67.0	66.0	67.1	A	A

- 人の気持ちが分かる人間になりたいと思っている児童生徒の割合は、文部科学省が行う全国学力・学習状況調査（対象小6、中3）において調査項目が削除されたことから、実績値を測定できませんでした。なお、岩手県で実施する学習定着度状況調査（対象小5、中2）において、新たに項目を設け調査した参考値としては、70.5%でした。
- 自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合の達成度は【A】となりました。計画目標値を達成していますが、調査の対象となる者は毎年変化することから、取組の定着を図るため、自己肯定感を普段からもてるよう家庭・地域と連携した教育環境の整備に引き続き取り組みます。
- 具体的な推進方策指標 16 指標は、達成度未確定の5指標を除き、「達成」が8指標（72.7%）、「概ね達成」が2指標（18.2%）、「遅れ」が1指標（9.1%）となりました。

特記事項

- 平成29年県民意識調査によると、「人間性豊かな子どもの育成」の重要度は7位、満足度は18位となり、ニーズ度は12位となっています。

3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的な推進方策）		
【推進方策指標の達成度】	【推進方策指標の進捗状況】	※グラフの見方は、8ページ参照
<p>遅れ【D】 11.1% 1指標</p> <p>概ね達成【B】 22.2% 2指標</p> <p>9指標</p> <p>達成【A】 66.7% 6指標</p>	<p style="text-align: right;">H30 目標 (%)</p> <p style="text-align: center;">0.0 25.0 50.0 75.0 100.0</p> <p>「特別の教科 道徳」の実施に向けた授業改善に取り組んでいる学校の割合</p> <p>児童生徒の読書者率の向上</p> <p>いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う児童生徒の割合</p> <p>◆臨床心理士等による心のサポートを行っている沿岸部の学校の割合</p> <p>◆情報モラル教育の推進を実施している学校の割合</p>	
<p>【未確定指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加している学校の割合（小、中） ○ ▼不登校児童生徒数（小、中、高） 		

(1) 道徳教育、体験活動・読書活動等の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H28)	実績値 (H28)	達成度	
						(H27)	(H27)
221 「特別の教科 道徳」の実施に向けた授業改善に取り組んでいる学校の割合	%	小-	100	60	59	B	A
222		中-	80	40	52	A	A
223	%	[小 5]99.3	99.7	99.5	99.0	D	D
224 児童生徒の読書者率の向上		[中 2]90.0	90.8	90.4	93.0	A	A
225		[高 2]66.7	70.0	68.0	72.8	A	A

- 「特別の教科 道徳」の実施に向けた授業改善に取り組んでいる学校の割合は、小学校の達成度は【B】、中学校の達成度は【A】となりました。
- 児童生徒の読書者率の向上は、中学生と高校生の達成度は【A】となりました。中学生と高校生については、既に計画目標値を達成していますが、図書館担当者を対象とした研修会の充実に努めながら計画目標値を継続して達成できるよう取り組みます。小学生については、学校等において児童が読書に関心を持てるような取組をしていますが、不読者への継続的な働きかけに時間を要するため、達成度は【D】となりました。

◎その他参考データ

調査項目	単位	H26	H27	H28	備考
全校一斉の読書活動を実施している小学校数	校		325 (330)		文部科学省「学校図書館調査」(隔年調査)

※カッコ内は岩手県内全小学校数

◎推進方を構成する事業実績

区分	計画 関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標					
				指標名	単位	平成28年度			KPI	指標名	単位	平成28年度		
						計画値	実績値	達成度				目標値	実績値	達成度
		指導運営費(人権教育研究推進事業) 【学校教育室】	168	研究指定校数	校	1	1	A		人権教育リーフレット配布 数	部	1,250	1,250	A
		指導運営費(道徳教育推進事業) 【学校教育室】	2,031	連絡協議会及び校内研 究会の回数	回	4	4	A		道徳教育啓発リーフレット の配布校数	校	497	497	A
		生涯学習推進費(子どもの読書活動推 進事業) 【生涯学習文化課】	275	読書ボランティア等研修 会の回数(累計)	回	138	138	A		学校における読書ボラ ンティア活用割合	%	62.6	68.7	A

(2) 家庭・地域との協働の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H28)	実績値 (H28)	達成度	
						(H27)	
226	%	小 72	84	76	—	—	A
227		中 53	70	60	—	—	A

- 保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加している学校の割合は、文部科学省が行う全国学力・学習状況調査の結果公表が未了のため、実績値を測定できませんでした。
なお、保護者や地域の人に学校における教育活動等に参加いただくため、教育振興運動実践区の取組等を通じながら、地域と協働した児童生徒の健全育成に取り組みました。

◎推進方を構成する事業実績

区分	計画 関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標					
				指標名	単位	平成28年度			KPI	指標名	単位	平成28年度		
						計画値	実績値	達成度				目標値	実績値	達成度
		家庭教育推進費(家庭教育子育て支 援推進事業) 【生涯学習文化課】	2,927	子育て電話相談、メール 相談窓口の開設日数	日	365	365	A		子育て相談ニーズへの対 応件数(累計)	件	10,300	10,687	A

(3) いじめなどに対応した教育相談機能の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H28)	実績値 (H28)	達成度	
						(H27)	
228	人	小 143	135	139	—	—	D
229		中 791	759	775	—	—	D
230		高 555	531	543	—	—	A
231	%	小 84	88	86	85.9	B	D
232		中 75	79	77	79.1	A	A

※高等学校は中退生徒も含む。

- 不登校児童生徒数は、文部科学省が行う問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査が未了のため、実績値が測定できませんでした。
なお、一層の不登校の未然防止や適切な対応を図るため、各教育事務所に配置しているスクールソーシャルワーカーの増員を行い、関係機関等と連携した教育相談体制の充実に取り組みました。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思ふ児童生徒の割合は、小学校の達成度は【B】、中学校の達成度は【A】となりました。中学生については、既に計画目標値を達成していますが、調査の対象となる児童生徒は毎年変化することから、取組の定着を図るため、日頃から児童生徒が主体的に考える機会を設けるなど、教育相談機能の充実に引き続き取り組みます。

◎推進方を構成する事業実績

区分	計画 関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標					
				指標名	単位	平成28年度			KPI	指標名	単位	平成28年度		
						計画値	実績値	達成度				目標値	実績値	達成度
		児童生徒健全育成推進費(スクール ソーシャルワーカー(SSW)配置事業) 【学校教育室】	16,687	スクールソーシャルワー カーの配置人数	人	17	17	A		◆相談希望への対応率	%	100	100	A
				—	—	—	—	—		支援児童生徒数	人	170	547	A

(4) 幼児児童生徒の心のサポートの充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H28)	実績値 (H28)	達成度	
						(H27)	(H27)
233 臨床心理士等による心のサポートを行っている沿岸部の学校の割合	%	100	100	100	100	A	A

- 臨床心理士等による心のサポートを行っている沿岸部の学校の割合の達成度は【A】となりました。計画目標値を達成していますが、児童生徒の相談内容は複雑化・多様化していることから教育相談機能の充実に引き続き取り組みます。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画 関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標						
				指標名	単位	平成28年度			KPI	指標名	単位	平成28年度			KPI
						計画値	実績値	達成度				目標値	実績値	達成度	
	復	児童生徒健全育成推進費(教育相談コーディネーター養成事業)【学校教育室】	295	教育相談に係わる長期研修修了者	人	8	8	A	学校心理士資格取得率	%	100	83	B		
				-	-	-	-		学校心理士数	人	8	5	C		
	復	児童生徒健全育成推進費(スクールカウンセラー等配置事業)【学校教育室】	292,251	中学校のスクールカウンセラー配置校数	校	154	140	B	◆相談希望への対応率	%	100	100	A		
				巡回型カウンセラーの配置	人	13	13	A	-	-	-	-	-		
				スーパーバイザーの派遣	箇所	5	6	A	-	-	-	-	-		
				大学チームによる支援	箇所	6	6	A	-	-	-	-	-		
	復	児童生徒健全育成推進費(学校不応対総合対策事業)【学校教育室】	11,948	高校カウンセラーの配置人数	人	10	10	A	◆配置希望校への対応率(高校)	%	100	100	A		
				自立支援相談員の配置人数	人	2	2	A	◆問題を抱える児童生徒への対応率	%	100	100	A		
				-	-	-	-		自立支援相談員が対応した相談件数	件	310	334	A		
		児童生徒健全育成推進費(24時間いじめ相談ダイヤル事業)【学校教育室】	3,560	電話相談窓口の設置・運営	箇所	3	3	A	◆相談希望への対応率	%	100	100	A		
				携帯カードの作成枚数	枚	150,000	150,000	A	▼不登校児童生徒数(小中高)	人	1,457	-	-		
		児童生徒健全育成推進費(いじめ問題総合対策事業)【学校教育室】	176	自立支援相談員の配置人数	人	2	2	A	◆問題を抱える児童生徒への対応率	%	100	100	A		
				いじめ問題に関する研修会開催回数	回	14	17	A	研修会へ教員を参加させた学校の割合	%	100	100	A		
				県いじめ問題対策連絡協議会の開催回数	回	2	1	D	児童生徒に関わるいじめの解消率	%	100	-	-		

(5) 情報モラル教育の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H28)	実績値 (H28)	達成度	
						(H27)	(H27)
234 情報モラル教育の推進を実施している学校の割合	%	100	100	100	100	A	A

- 情報モラル教育の推進を実施している学校の割合の達成度は【A】となりました。計画目標値を達成していますが、児童生徒を取り巻く情報環境は変化することから、引き続き学校における教育の充実に取り組みます。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画 関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標						
				指標名	単位	平成28年度			KPI	指標名	単位	平成28年度			KPI
						計画値	実績値	達成度				目標値	実績値	達成度	
		児童生徒健全育成推進費(情報モラル教育推進事業)【学校教育室】	338	体験学習出前講座の実施回数	回	20	25	A	出前講座の要請への対応率	%	90	100	A		

V 教育・文化

政策項目No.26：健やかな体を育む教育の推進

1 みんなで目指す姿

児童生徒が自らの体力や健康に関心を持ち、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を身に付けることにより、体力の向上と心身の健康の保持増進を図っています。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1)体力向上や運動に親しむ環境づくり	5	34,135	32,287	28,646	3,641	0	0
(2)健康教育の充実	0	0	0	0	0	0	0
(3)指導者の資質向上・授業力向上	0	0	0	0	0	0	0

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H28)	実績値 (H28)	達成度	
						(H27)	(H27)
59 体力・運動能力調査の総合評価※ ¹ (5段階:A~E)のA・B・C段階の児童生徒の割合(小学校5年生・中学校2年生)	%	79.7	80.0	79.7	80.1	A	A
60 「定期健康診断」の肥満度が正常の範囲内の児童生徒の割合(小学校5年生・中学校2年生)	%	85.9	86.5	86.1	86.4	A	A

- 体力・運動能力調査の総合評価(5段階:A~E)のA・B・C段階の児童生徒の割合(小学校5年生・中学校2年生)の達成度は【A】となりました。(小学校76.5%、中学校83.7%)計画目標値を達成していますが、調査対象となる児童生徒は毎年変化することから、取組の定着を支援しながら今後も維持継続を目指していきます。
- 「定期健康診断」の肥満度が正常の範囲内の児童生徒の割合(小学校5年生・中学校2年生)の達成度は【A】となりました。(小学校85.0%、中学校87.5%)
- 具体的な推進方策指標6指標は、全て「達成」となりました。

特記事項

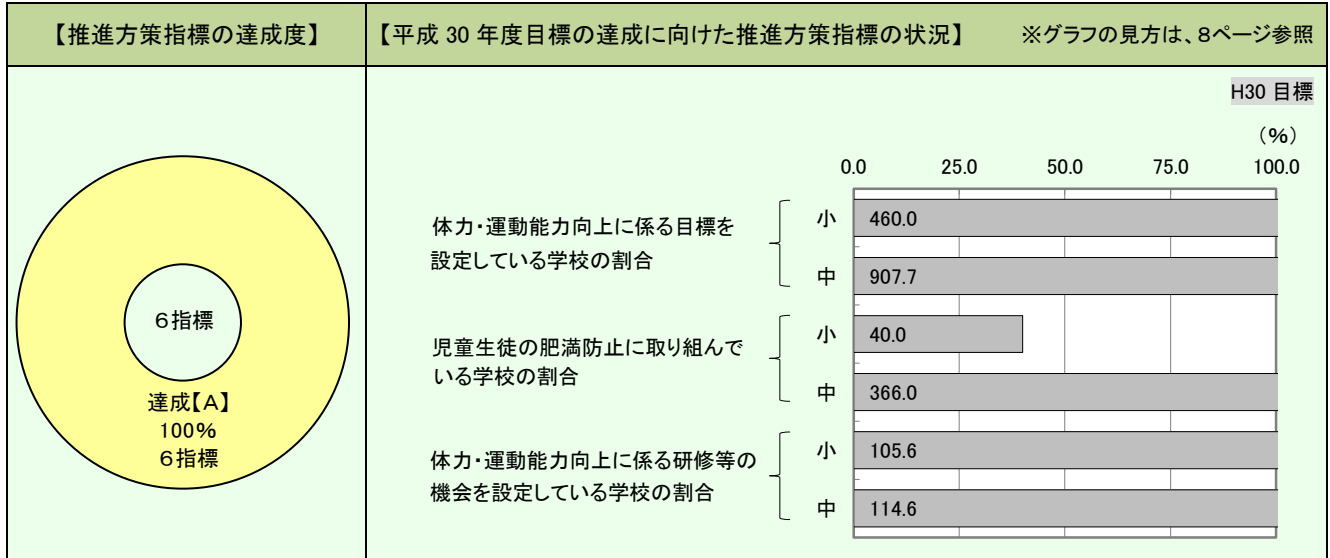
- 平成29年県民意識調査によると、「子どもの体力向上」の重要度は14位、満足度は8位となり、ニーズ度は32位となっています。

【用語解説】

※1 総合評価

スポーツ庁主催の全国調査(対象:小学校第5学年・中学校第2学年)は、新体力テスト(調査8項目)により実施される。個人の結果は、各項目の値を得点化(10点満点)し、8項目を合計した得点(体力合計点)によりA~Eの5段階に評価される。

3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的な推進方策）



(1) 体力向上や運動に親しむ環境づくり

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H28)	実績値 (H28)	達成度	
						(H27)	(H27)
237 体力・運動能力向上に係る目標を設定している学校の割合	%	小 89.5	91.0	90.5	96.4	A	A
238		中 65.4	68.0	67.0	89.0	A	A

- 体力・運動能力向上に係る目標を設定している学校の割合の達成度は【A】となりました。計画目標値を達成していますが、目標未設定の学校もあることから取組の定着を図るため、今後も継続して小中学校を支援していきます。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標				成果指標						
				指標名	単位	計画値	実績値	達成度	KPI	指標名	単位	計画値	実績値	達成度
		運動部活動活性化推進費(体力向上推進事業)【スポーツ健康課】	2,660	派遣要請回数に対する派遣実施校の割合	%	100	100	A	派遣要請回数に対する派遣実施回数の割合	%	100	100	A	
		児童生徒の体力向上推進事業費(体力向上課題解決プロジェクト事業)【スポーツ健康課】	1,735	実践研究実施校数(公募)	校	1	1	A	プレイリーダー派遣要請回数に対する派遣実施回数の割合	%	100	100	A	
	復	管理運営費(高田高校運動部活動等支援スクールバス運行事業)【教育企画室】	13,966	バス運行台数	台	5	5	A	バス運行回数	回	948	748	C	
	復	いわての学び希望基金被災地生徒運動部活動支援事業費(生徒運動部活動支援事業)【スポーツ健康課】	11,057	支援要請回数に対する支援実施校の割合	%	100	100	A	支援要請回数に対する支援実施回数の割合	%	100	100	A	
				事業活用学校数	校	13	13	A	事業活用回数	回	169	169	A	
		指導運営費(武道等指導充実・資質向上支援事業)【スポーツ健康課】	2,869	派遣要請回数に対する派遣実施校の割合	%	100	100	A	派遣要請回数に対する派遣実施回数の割合	%	100	100	A	

(2) 健康教育の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H28)	実績値 (H28)	達成度	
						(H27)	(H27)
239 児童生徒の肥満防止に取り組んでいる学校の割合	%	小 98.5	100.0	99.0	99.1	A	A
240		中 75.0	80.0	78.0	93.3	A	A

- 児童生徒の肥満防止に取り組んでいる学校の割合の達成度は【A】となりました。中学生については、計画目標値を達成していますが、取組が未実施の学校もあることから、取組の定着を図るため、今後も継続して小中学校を支援していきます。

(3) 指導者の資質向上・授業力向上

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H28)	実績値 (H28)	達成度	
						(H27)	
241 体育・運動能力向上に係る研修等の機会を	%	小 ー	87.0	86.0	91.9	A	A
242 設定している学校の割合		中 ー	67.0	64.0	76.8	A	A

- 体力・運動能力向上に係る研修等の機会を設定している学校の割合の達成度は【A】となりました。計画目標値を達成していますが、研修等を未実施の学校もあることから、取組の定着を図るため、今後も小中学校を支援します。

V 教育・文化

政策項目No.27：特別支援教育の充実

1 みんなで目指す姿

障がいのある幼児児童生徒一人ひとりが個々の教育的ニーズにきめ細かく応える支援体制のもとで、障がいのない子どもたちといきいきとした学校生活を送り、将来の自立に向けた「共に学び、共に育つ教育」が実現されています。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) 就学前及び小・中学校、高等学校における特別支援教育の充実	2	45,521	44,558	235	129	0	44,194
(2) 特別支援学校における教育の充実	4	69,323	59,769	15,317	15,436	0	29,016
(3) 県民と協働した特別支援教育体制づくり	0	0	0	0	0	0	0
(4) 特別支援学校における就職支援	2	17,101	16,529	0	56	0	16,473

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H28)	実績値 (H28)	達成度	
						(H27)	(H27)
61 特別な支援を必要とする児童生徒について「個別の教育支援計画※1」を作成している学校の割合	%	81	100	89	89	A	D
62 特別支援学校における交流学习等により地域の学校との交流を行っている児童生徒数(延べ人数)	人	491	1,500	1,000	1,564	A	A

- 特別な支援を必要とする児童生徒について「個別の教育支援計画」を作成している学校の割合の達成度は【A】となりました。
- 特別支援学校における交流学习等により地域の学校との交流を行っている児童生徒数(延べ人数)の達成度は【A】となりました。計画目標値を達成していますが、単年度の交流では地域の学校との交流が定着したとは言い難いことから、毎年度継続して学校と地域とのつながりを大切にされた教育活動を実施するよう、引き続き取組を推進します。
- 具体的な推進方策指標7指標は、「達成」が5指標(71.4%)、「やや遅れ」が2指標(28.6%)となりました。

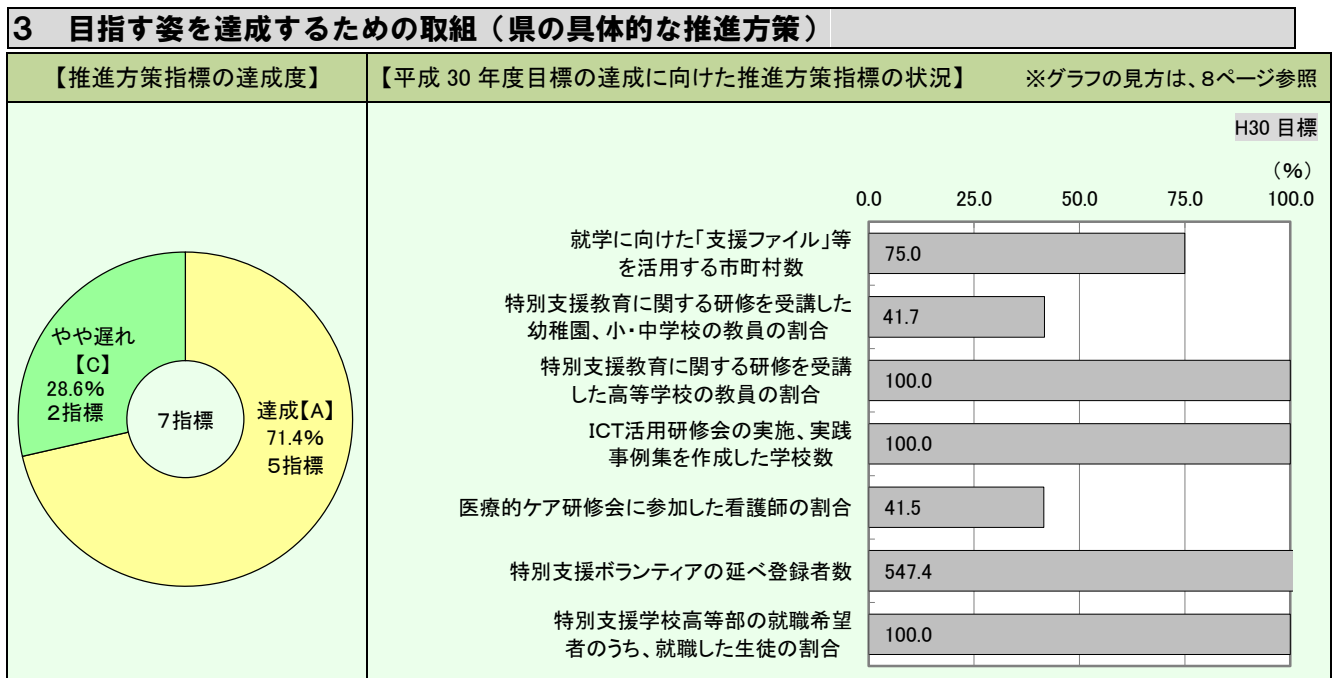
特記事項

- 平成29年県民意識調査によると、「全ての子どもが学べる環境」の重要度は12位、満足度は21位となり、ニーズ度は16位となっています。

【用語解説】

※1 個別の教育支援計画

教育サイドが主体となって作成する「個別の支援計画」。本人・保護者の参画や関係機関との連携により、継続した一貫性のある支援をねらいとして作成するもの。



（1）就学前及び小・中学校、高等学校における特別支援教育の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H28)	実績値 (H28)	達成度	
						(H27)	(H27)
243 就学に向けた「支援ファイル ^{※2} 」等を活用する市町村数	市町村	29	33	33	32	C	A
244 特別支援教育に関する研修を受講した幼稚園、小・中学校の教員の割合	%	88	100	92	93	A	D
245 特別支援教育に関する研修を受講した高等学校の教員の割合	%	96	100	100	100	A	D

- 就学に向けた「支援ファイル」等を活用する市町村数の達成度は、市町村を対象とした研修会で「支援ファイル」等の活用方法等を周知し活用を促進したものの、よりきめ細かい支援ファイルを作成するため、その検討に時間を要し、ファイル作成に至らなかった市町村があったことから、【C】となりました。
- 特別支援教育に関する研修を受講した幼稚園、小・中学校の教員の割合の達成度は【A】となりました。
- 特別支援教育に関する研修を受講した高等学校の教員の割合の達成度は【A】となりました。計画目標値を達成しており、積極的な研修受講を働きかけた結果と考えられますが、今後も研修内容の充実を図りながら、毎年度受講するよう引き続き積極的な周知を行います。

【用語解説】

※2 支援ファイル

「個別の支援計画」に関連する資料。「いわて特別支援教育推進プラン」において、幼児期からの円滑な就学に向けた相談支援のための資料として作成、活用されるよう働きかけているもの。独自の様式を作成、活用して運用を行っている市町村もある。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標						
				指標名	単位	平成28年度			KPI	指標名	単位	平成28年度			KPI
						計画値	実績値	達成度				目標値	実績値	達成度	
		特別支援教育推進事業費(特別支援教育かがやきプラン推進事業)【学校教育室】	43,252	高等学校への支援員配置数	人	30	34	A	支援員配置に伴い成果のあった学校の割合	%	100	100	A		
		特別支援教育推進事業費(いわて特別支援教育推進プラン実践事業)【学校教育室】	1,306	巡回相談をした特別支援学校数	校	14	14	A	◆巡回相談要請への対応率	%	100	100	A		
				研修の場の提供及び合同研修会の開催回数	回	50	60	A	研修会参加人数	人	1,500	1,600	A		

(2) 特別支援学校における教育の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H28)	実績値 (H28)	達成度	
						(H27)	
246 ICT活用研修会の実施、実践事例集を作成した学校数	校	0	(全校)14	14	14	A	A
247 医療的ケア研修会に参加した看護師の割合	%	47	100	75	69	C	A

- ICT活用研修会の実施、実践事例集を作成した学校数の達成度は【A】となりました。計画目標値を達成していますが、取組の定着を図るよう、授業内の実践事例集の活用を推進していきます。
- 医療的ケア研修会に参加した看護師の割合の達成度は、積極的な参加を呼びかけましたが、児童生徒に対する看護業務との調整がつかなかった看護師がいたため、参加した看護師の割合の達成度は【C】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画 関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標				成果指標					
				指標名	単位	平成28年度			指標名	単位	平成28年度		
						計画値	実績値	達成度			KPI	目標値	実績値
		特別支援教育推進事業費(特別支援学校スクールカウンセラー配置事業)【学校教育室】	1,120	特別支援学校へのカウンセラー派遣回数	回	68	68	A	◆相談希望への対応率	%	100	100	A
				-	-	-	-		相談希望対応件数	件	68	68	A
		特別支援教育推進事業費(特別支援学校医療的ケア体制整備事業)【学校教育室】	42,612	看護師等研修会の開催	回	1	1	A	研修会参加看護師数	人	30	31	A
				看護師の配置数	人	40	41	A	◆看護師による医療的ケアの実施割合	%	100	100	A
総		特別支援学校自立活動充実事業費【学校教育室】	601	タブレット端末の配備校数	校	14	14	A	学校間での研修会等の実施	回	4	4	A
		障がい児希望実現推進事業費【学校教育室】	15,436	タブレット端末の配備校数	校	14	14	A	学校間での研修会等の実施	回	4	4	A

(3) 県民と協働した特別支援教育体制づくり

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H28)	実績値 (H28)	達成度	
						(H27)	
248 特別支援ボランティアの延べ登録者数	人	106	125	115	210	A	A

- 特別支援ボランティアの延べ登録者数の達成度は【A】となりました。計画目標値を達成していますが、更に登録者数の拡大を図り障害等への理解を深めてもらうため、ボランティア養成講座の受講について引き続きPRを行います。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画 関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標				成果指標					
				指標名	単位	平成28年度			指標名	単位	平成28年度		
						計画値	実績値	達成度			KPI	目標値	実績値
再		特別支援教育推進事業費(いわて特別支援教育推進プラン実践事業)【学校教育室】	(1,306)	巡回相談をした特別支援学校数	校	14	14	A	◆巡回相談要請への対応率	%	100	100	A
				研修の場の提供及び合同研修会の開催回数	回	50	60	A	研修会参加人数	人	1,500	1,600	A

(4) 特別支援学校における就職支援

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H28)	実績値 (H28)	達成度	
						(H27)	
249 特別支援学校高等部の就職希望者のうち、就職した生徒の割合	%	99.0	100	99.4	100	A	A

- 特別支援学校高等部の就職希望者のうち、就職した生徒の割合の達成度は【A】となりました。計画目標値を達成していますが、就職を希望する生徒の心身状況などが就職に影響することから、今後も生徒と企業等とのニーズに合った調整を行い、目標値の達成維持を目指します。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画 関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標						
				指標名	単位	平成28年度			KPI	指標名	単位	平成28年度			KPI
						計画値	実績値	達成度				目標値	実績値	達成度	
		教職員人事管理費(障がい者雇用促進対策事業)【学校教育室、教職員課】	8,421	特別支援学校卒業生の 雇用人数	人	2	2	A		本事業を利用して一般企業に就労した者の割合	%	50	50	A	
	総	特別支援教育推進事業費(特別支援学校キャリア教育推進事業)【学校教育室】	8,108	企業との連携協議会対象校数	校	5	9	A		現場実習及び企業との連携協議会を実施した対象校の割合	%	100	100	A	
				職業指導支援員の配置及び企業との連携協議会の設置	校	5	5	A		企業での現場実習の実施	回	10	10	A	

V 教育・文化

政策項目No.28：家庭・地域との協働による学校経営の推進

1 みんなで目指す姿

「知・徳・体」を備え調和のとれた人間形成という教育目的の実現に向けて、学校評価を学校経営計画^{※1}の改善に具体的に生かしながら、家庭・地域との協働による目標達成型の学校経営が行われています。

また、「いわての復興教育^{※2}」の理念と「【いきる】【かかわる】【そなえる】^{※3}」という教育的価値が定着しています。そのうち特に、様々な自然災害等に【そなえる】教育活動（防災教育）の充実により、自他の生命を守り抜く力と「共助」の精神を兼ね備え、地域の防災活動に進んで参加するなど、岩手の復興・発展及び地域防災を支える人材が育まれています。

【用語解説】

※1 学校経営計画

学校の教育目標の実現を目指し、前年度の学校評価の結果を生かしながら、各年度における学校運営方針や目標及び重点項目と、これを達成するための具体的方策等を示すもの。学校経営の改善を図るマネジメントサイクルのツールとして、全ての学校で作成している。

※2 いわての復興教育

東日本大震災津波による被災体験を踏まえ、県内全ての学校がそれぞれの実情に応じて取り組むことができる教育プログラムを作成・普及することにより、子どもたち自らの未来を切り拓く力を育むとともに、県内の全ての学校が心を1つにして震災を見つめ、岩手の復興・発展を担う「ひとづくり」を進めていくための教育。

※3 「【いきる】(生命や心について) 【かかわる】(人や地域について) 【そなえる】(防災や安全について)」

東日本大震災津波による被災体験からクローズアップされた教育的価値。「いわての復興教育」は、郷土を愛し、その復興・発展を支える人材を育成するために、各学校の教育活動を通して、3つの教育的価値（【いきる】【かかわる】【そなえる】）を育てることを目的としている。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) 目標達成型の学校経営の推進	0	0	0	0	0	0	0
(2) 学校と家庭・地域との協働の推進	1	1,101	707	0	0	0	707
(3) 実践的な防災教育(【そなえる】)を中核とした「いわての復興教育」の推進	3	30,897	28,396	19,781	8,615	0	0

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

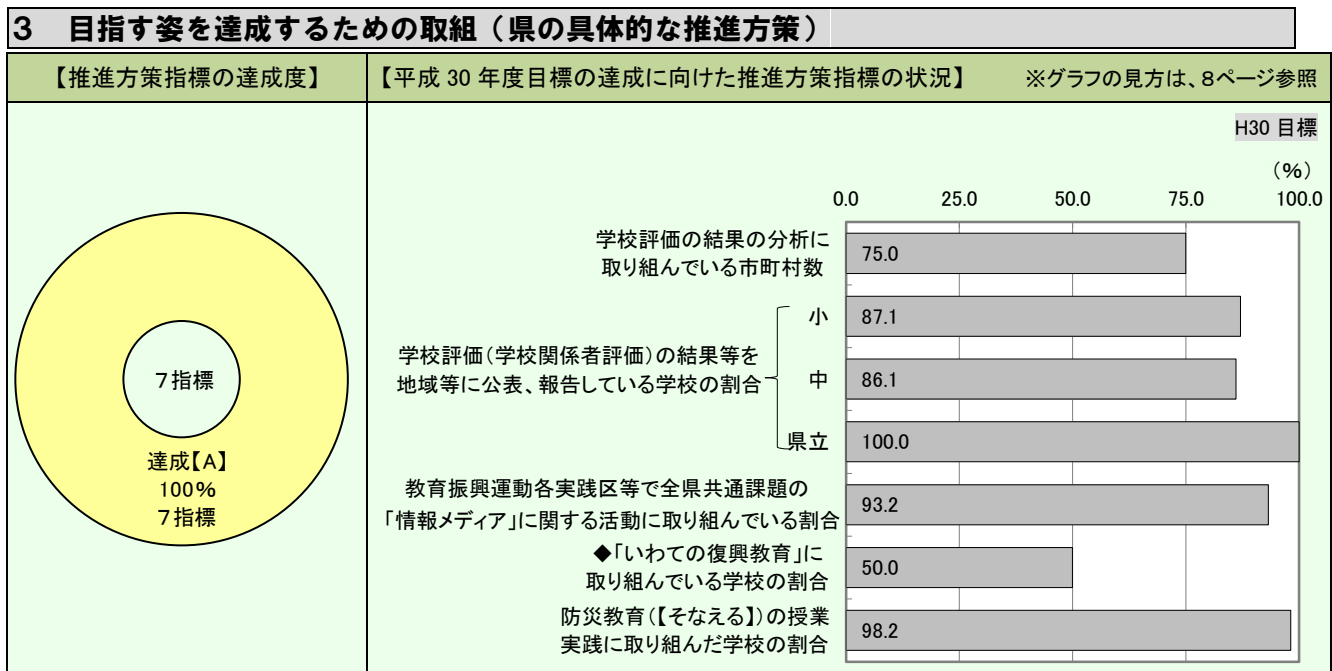
◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H28)	実績値 (H28)	達成度	
						(H27)	(H27)
63 学校評価結果等を踏まえて学校運営方針や重点項目等を見直し、組織的に学校経営の改善に取り組んでいる学校の割合	%	-	100	80	96.4	A	A
64 教育計画の中に様々な自然災害等に「そなえる」教育活動(防災教育)を具体的に取り入れて再構築した学校の割合	%	-	100	80	100	A	A

- 学校評価結果等を踏まえて学校運営方針や重点項目等を見直し、組織的に学校経営の改善に取り組んでいる学校の割合の達成度は【A】となりました。
- 教育計画の中に様々な自然災害等に「そなえる」教育活動（防災教育）を具体的に取り入れて再構築した学校の割合の達成度は【A】となりました。計画目標値を達成していますが、取組の定着を図るため、学校単独の取組から、地域等と連携した取組の促進を図ります。
- 具体的な推進方策指標7指標は、全て「達成」となりました。

特記事項

- 平成29年県民意識調査によると、「学校と地域との協力」の重要度は22位、満足度は15位となり、ニーズ度は29位となっています。



(1) 目標達成型の学校経営の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H28)	実績値 (H28)	達成度	
						(H27)	(H27)
250 学校評価の結果の分析に取り組んでいる市町村数	市町村	9	33	16	27	A	A
251 学校評価(学校関係者評価)の結果等を地域等に公表、報告している学校の割合	%	小 69.8	100	80	96.1	A	A
		中 64.8	100	80	95.1	A	A
		県立 83.2	100	90	100	A	A

- 学校評価の結果の分析に取り組んでいる市町村数の達成度は【A】となりました。
- 学校評価(学校関係者評価)の結果等を地域等に公表、報告している学校の割合の達成度は【A】となりました。県立高校については、既に計画目標値を達成していますが、生徒がより良い学校生活を送れるよう、引き続き学校運営の改善と発展を目指した学校経営の取組を推進します。

(2) 学校と家庭・地域との協働の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H28)	実績値 (H28)	達成度	
						(H27)	(H27)
254 教育振興運動※4各実践区等で全県共通課題の「情報メディア」に関する活動に取り組んでいる割合	%	19.7	80.0	60.0	75.9	A	A

- 教育振興運動各実践区等で全県共通課題の「情報メディア」に関する活動に取り組んでいる割合の達成度は【A】となりました。

【用語解説】

※4 教育振興運動

岩手において昭和40年から始まり、全ての市町村に推進組織が置かれ、学校区や公民館区など計453の実践区(平成26年度現在)において、子ども、家庭、学校、地域、行政の5者が一体となり、地域の教育課題を解決するために自主的に行われている実践活動の総称。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画 関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標						
				指標名	単位	平成28年度			KPI	指標名	単位	平成28年度			KPI
						計画値	実績値	達成度				目標値	実績値	達成度	
再	復・総	学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業費【生涯学習文化課】	174,919	指導者等の研修会の開催回数(累計)	回	30	30	A		放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	91.4	93.1	A	153
				学校、家庭、地域の連携による促進委員会の開催回数(累計)	回	20	20	A		中高生の学習支援設置箇所数	箇所	15	15	A	
再		学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化課】	13,568	補助市町村数	市町村	5	5	A		放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	91.4	93.1	A	
				指導者等の研修会の開催回数(累計)	回	30	30	A		中学生の学習支援設置箇所数	箇所	15	15	A	
				学校、家庭、地域の連携による促進委員会の開催回数(累計)	回	20	20	A		-	-	-	-	-	
総		高等学校教育改革推進費(新しい県立高等学校整備計画策定等事業)【学校教育室】	707	地域及び学校との打合せ回数	回	4	6	A		◆地域と高校が連携し、高校の魅力向上に繋がる取組を行う地域(累計)	箇所	1	1	A	151

(3) 実践的な防災教育(【そなえる】)を中核とした「いわての復興教育」の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H28)	実績値 (H28)	達成度	
						(H27)	(H27)
255 「いわての復興教育」に取り組んでいる学校の割合	%	100	100	100	100	A	A
256 防災教育(【そなえる】)の授業実践に取り組んだ学校の割合	%	50	100	80	99.1	A	A

- 「いわての復興教育」に取り組んでいる学校の割合及び防災教育(【そなえる】)の授業実践に取り組んだ学校の割合の達成度は【A】となりました。「いわての復興教育」に取り組んでいる学校の割合については、計画目標値を達成していますが、震災の教訓等を語り継ぐことで、復興・発展を支える人材を育成することが重要であることから、引き続き復興教育の充実に取り組みます。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画 関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標						
				指標名	単位	平成28年度			KPI	指標名	単位	平成28年度			KPI
						計画値	実績値	達成度				目標値	実績値	達成度	
	復・総	県立学校復興担い手育成支援事業費【学校教育室】	14,019	進学支援対策講座等の実施校数	校	7	7	A		進学支援対策講座等の受講者数	人	250	274	A	
				進路実現取組実施校数	校	19	20	A		事業目的の成果があった学校の割合(評価ランクB以上の学校割合)	%	100	100	A	
	復	実践的防災安全教育支援事業費(防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業)【学校教育室】	5,762	学校防災アドバイザー派遣校	校	30	30	A		避難訓練や危機管理マニュアルの見直しを行った学校数	校	30	30	A	
				通学路安全対策アドバイザー派遣	市町	1	1	A		通学路点検を実施した市町	市町	1	1	A	
				防災教育研修会の開催回数	回	1	1	A		研修受講者の理解度	%	80	100	A	
	復	防災教育・復興教育推進事業費【学校教育室】	8,615	いわての復興教育スクール実践校数	校	13	13	A		取組のねらいを達成した学校の割合	%	100	100	A	

V 教育・文化

政策項目No.29：生涯を通じた学びの環境づくり

1 みんなで目指す姿

県民一人ひとりが生涯にわたって自己実現を目指し、多様な機会を通じて学び、その学びの成果を生かすことが、生きがいづくりにつながり心豊かな生活になるとともに、郷土いわてに誇りを持ち愛着を深めています。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) 学習活動を支援する環境の充実	3	413,843	402,479	181,701	213,992	0	6,786
(2) 生涯にわたる学習機会の充実	0	0	0	0	0	0	0

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H28)	実績値 (H28)	達成度	
						(H27)	(H27)
65 生涯学習リーダー※1登録者数(累計)	人	730	810	770	771	A	A
66 生涯学習に関する研修会等への参加者数	人	6,194	7,000	6,600	10,284	A	A

- 生涯学習リーダー登録者数(累計)の達成度は【A】となりました。
- 生涯学習に関する研修会等への参加者数の達成度は【A】となりました。計画目標値を達成していますが、出前講座の要望に対応した影響が大きいと考えられることから、その他の研修会等への参加者数の増減について注視しながら目標値の達成維持を目指します。
- 具体的な推進方策指標3指標は、全て「達成」となりました。

特記事項

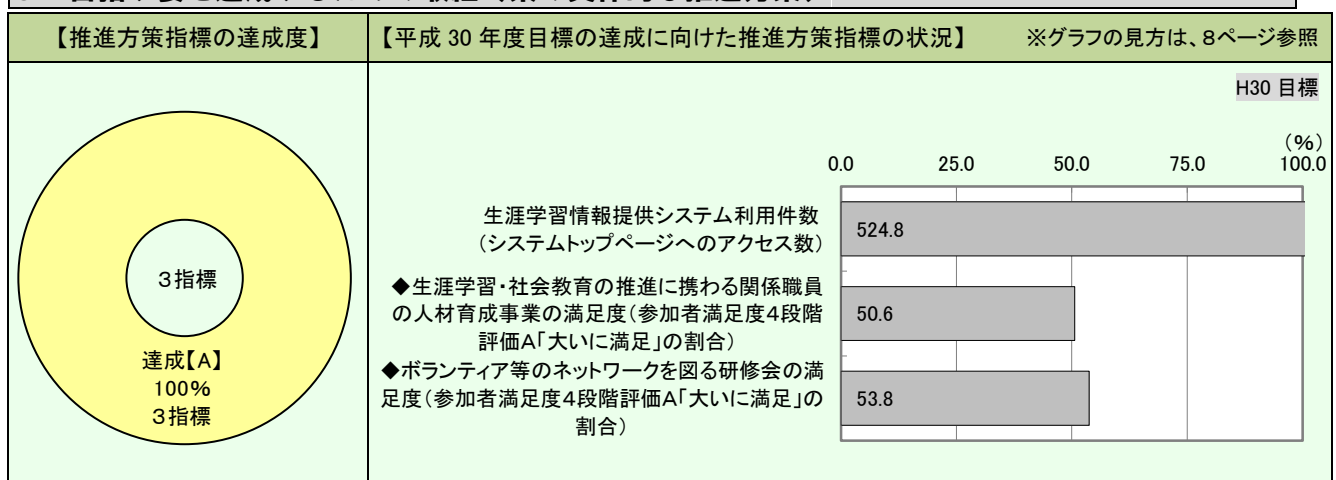
- 平成29年県民意識調査によると、「自分に適した内容や方法で学べる環境」の重要度は30位、満足度は25位となり、ニーズ度は30位となっています。

【用語解説】

※1 生涯学習リーダー

教養・文化、スポーツ・健康、ビジネスライフ、パソコン、ボランティア、学術一般、現代的課題の各分野において、生涯学習を推進する指導者として県立生涯学習推進センターに登録され、かつ県民に社会教育事業の活用を奨励している方。

3 目指す姿を達成するための取組(県の具体的な推進方策)



(1) 学習活動を支援する環境の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H28)	実績値 (H28)	達成度	
						(H27)	
257 生涯学習情報提供システム※2利用件数(システムトップページへのアクセス数)	件	23,710	28,450	26,080	48,584	A	A
258 生涯学習・社会教育の推進に携わる関係職員の人材育成事業の満足度(参加者満足度4段階評価A「大いに満足」の割合)	%	-	80	80	81	A	A

- 生涯学習情報提供システム利用件数（システムトップページへのアクセス数）及び生涯学習・社会教育の推進に携わる関係職員の人材育成事業の満足度（参加者満足度4段階評価A「大いに満足」の割合）の達成度は【A】となりました。生涯学習情報提供システム利用件数は計画目標値を達成していますが、今後も利用者にとって使いやすいシステム作りに努めながら計画目標値の達成を目指します。また、生涯学習・社会教育の推進に携わる関係職員の人材育成事業の満足度も計画目標値を達成していますが、今後も参加者のニーズ把握に努めながら計画目標値を継続して達成できるよう取り組みます。

【用語解説】

※2 生涯学習情報提供システム

県が推進する生涯学習施策及び社会教育施策の紹介や事例をはじめ、市町村における各事業等、県民に対し生涯学習に係る情報を提供するホームページ。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標						
				指標名	単位	平成28年度			KPI	指標名	単位	平成28年度			KPI
						計画値	実績値	達成度				目標値	実績値	達成度	
復・総		学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業費【生涯学習文化課】	174,919	指導者等の研修会の開催回数(累計)	回	30	30	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	91.4	93.1	A	153	
				学校、家庭、地域の連携による促進委員会の開催回数(累計)	回	20	20	A	中高生の学習支援設置箇所数	箇所	15	15	A		
		学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化課】	13,568	補助市町村数	市町村	5	5	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	91.4	93.1	A		
				指導者等の研修会の開催回数(累計)	回	30	30	A	中学生の学習支援設置箇所数	箇所	15	15	A		
				学校、家庭、地域の連携による促進委員会の開催回数(累計)	回	20	20	A	-	-	-	-	-		
復・総		いわての学び希望基金奨学金給付事業費【教育企画室】	213,992	-	-	-	-	-	「いわての学び希望基金」を原資とする奨学金の給付率	%	100	100	A	152	

(2) 生涯にわたる学習機会の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H28)	実績値 (H28)	達成度	
						(H27)	
259 ボランティア等のネットワークを図る研修会の満足度(参加者満足度4段階評価A「大いに満足」の割合)	%	-	80	80	82	A	A

- ボランティア等のネットワークを図る研修会の満足度（参加者満足度4段階評価A「大いに満足」の割合）の達成度は【A】となりました。計画目標値を達成していますが、今後も参加者のニーズ把握に努めながら計画目標値を継続して達成できるよう取り組みます。

V 教育・文化

政策項目No.32：多様な文化の理解と国際交流

1 みんなで目指す姿

地域において、外国人県民等^{※1}との交流が行われ、文化や価値観を認め合っています。また、外国人県民等に対する受入体制が整備され、外国人県民等も積極的に地域活動に参加するなど、共にいきいきと生活する多文化共生社会が実現しています。

海外との草の根交流^{※2}や姉妹都市交流などにより、様々なネットワークが形成され、岩手の魅力が海外に発信されています。

【用語解説】

※1 外国人県民等
外国籍を持つ県民や外国にルーツがある日本国籍を持つ県民。

※2 草の根交流
民間団体等が自主的に行う交流活動。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

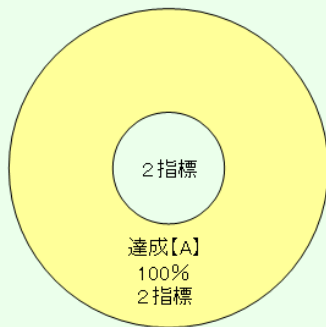
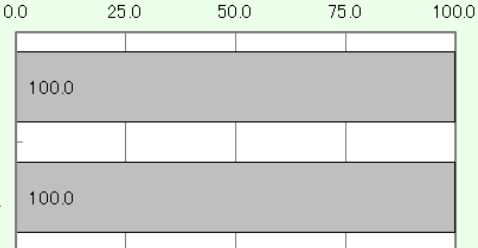
具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(2) 海外とのネットワークの形成	5	36,156	34,810	10,176	43	0	24,591

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

特記事項

- 本県における在留外国人数は、平成22年12月末は6,191人でしたが、震災後の平成23年12月末には、5,234人に減少しました。その後、平成28年12月末には、5,902人となり、震災後大きく減少した在留外国人数は、震災前の95.3%まで回復してきています。
- 平成29年県民意識調査によると、「外国人も暮らしやすい地域社会」の重要度は45位、満足度は23位となり、ニーズ度は44位となっています。

3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的な推進方策）

【推進方策指標の達成度】	【平成30年度目標の達成に向けた推進方策指標の状況】	※グラフの見方は、8ページ参照
 <p>2指標 達成【A】 100% 2指標</p>	<p>イングリッシュ・キャンプに参加して英語コミュニケーション能力の向上を実感した生徒の割合</p> <p>海外派遣に参加して国際理解や国際感覚及びグローバルな視点を持つようになった生徒の割合</p>	<p>H30 目標</p> <p>(%)</p>  <p>0.0 25.0 50.0 75.0 100.0</p> <p>100.0</p> <p>100.0</p>

(2) 海外とのネットワークの形成

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H28)	実績値 (H28)	達成度	
						A	B
274 イングリッシュ・キャンプに参加して英語コミュニケーション能力の向上を実感した生徒の割合	%	-	100	98	100	A	B
275 海外派遣に参加して国際理解や国際感覚及びグローバルな視点を持つようになった生徒の割合	%	-	100	98	100	A	B

- イングリッシュ・キャンプに参加して英語コミュニケーション能力の向上を実感した生徒の割合及び海外派遣に参加して国際理解や国際感覚及びグローバルな視点を持つようになった生徒の割合の達成度は【A】となりました。計画目標値を達成していますが、キャンプや海外派遣への参加後も国際理解やグローバル視点を持ち続ける生徒が増えることが重要であると考えことから、今後はキャンプ等の内容充実を図ります。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画 関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標						
				指標名	単位	平成28年度			KPI	指標名	単位	平成28年度			
						計画値	実績値	達成度				目標値	実績値	達成度	KPI
総		指導運営費(いわて高校生留学促進事業)【学校教育室】	1,219	グローバル人材育成のための講師派遣事業実施校数	校	10	10	A		グローバル人材育成のための講師派遣事業参加生徒数	人	1,000	2,198	A	
総		指導運営費(スーパーグローバルハイスクール推進事業)【学校教育室】	9,125	スーパーグローバルハイスクール事業を推進する学校数	校	1	1	A		大学・企業等の国内研修に参加した生徒数	人	320	320	A	

Ⅶ 社会資本・公共交通・情報基盤

政策項目No.38：安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備

1 みんなで目指す姿

東日本大震災津波により被災した沿岸地域では、「多重防災型」の復興まちづくりとともに、湾口防波堤や防潮堤などの津波防災施設の復旧・整備が進み、安全な避難体制が構築された防災都市・地域づくりが概成しています。

地震や洪水、土砂災害などから県民の生命・財産を守る施設の整備などのハード対策や、警戒避難体制の整備などのソフト対策が進むとともに、災害時の緊急輸送等を確保するため信頼性の高い道路ネットワークの構築や冬期間も安全な通行を確保する取組、通学路への歩道整備が進んでいます。

また、住宅や学校施設、庁舎及び医療機関の耐震化の推進により、日常の生活を支える社会資本の整備が進んでいます。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

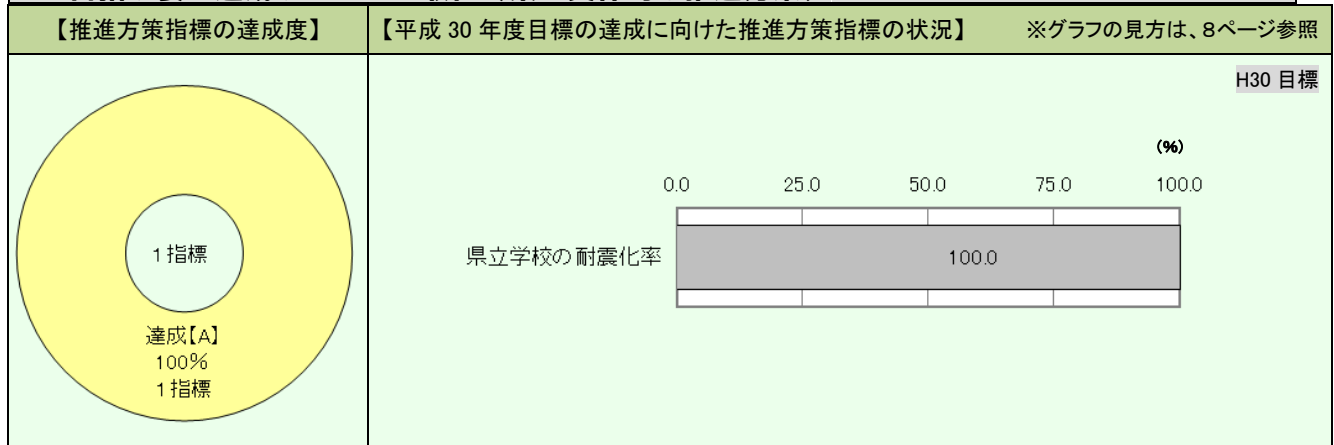
具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(2) 地震・洪水・土砂災害対策の推進	14	115,757,777	53,878,682	43,529,132	3,970,306	4,425,074	1,954,170

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

特記事項

- 本県の建築物の耐震診断・耐震改修を引き続き促進していくため、平成 28 年 4 月に「第 2 期岩手県耐震改修促進計画」を策定しました。
- 平成 29 年県民意識調査によると、「災害に強く安心して暮らせる県土」の重要度は 5 位、満足度は 26 位となり、ニーズ度は 9 位となっています。

3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的な推進方策）



(2) 地震・洪水・土砂災害対策の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H26)	計画目標値 (H30)	年度目標値 (H28)	実績値 (H28)	達成度	
						(H27)	(H27)
331 県立学校の耐震化率	%	97.8	98.2	98.2	98.2	A	A

- 防災拠点建築物（庁舎）における耐震診断実施施設数（累計）、県立学校の耐震化率、災害拠点病院及び二次救急医療機関の耐震化率並びに岩手山火山噴火対応施設整備に着手した溪流数（累計）の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	計画 関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標						
				指標名	単位	平成28年度			KPI	指標名	単位	平成28年度			KPI
						計画値	実績値	達成度				目標値	実績値	達成度	
		校舎大規模改造事業費(校舎大規模改造事業)【教育企画室】	59,226	学校施設の耐震診断(小規模特別教室棟等)	箇所	4	4	A		耐震診断実施箇所数	箇所	4	4	A	
		校舎大規模改造事業費(産業教育施設大規模改造事業)【教育企画室】	35,900	学校施設の耐震診断(小規模産振棟)	箇所	12	12	A		耐震診断実施箇所数	箇所	12	12	A	
	復	学校施設災害復旧事業費(県立高田高等学校災害復旧事業)【教育企画室】	149,021	県立学校施設の災害復旧	箇所	1	0	D		復旧完了施設数	箇所	1	0	D	
		校舎建設事業費(校舎耐震改築事業)【教育企画室】	371,237	学校施設の耐震化	箇所	2	2	A		県立学校の耐震化率	%	98.2	98.2	A	

参考資料 平成28年度「教育委員会事務点検評価報告書」指標一覧表

達成度：平成26年度現状値を基準とし、平成28年度実績値が、平成28年度目標値に対し、どのくらい達成できたかを示す割合

【A】達成……………達成度の割合が100%以上
 【B】概ね達成……………達成度の割合が80%以上100%未満
 【C】やや遅れ……………達成度の割合が60%以上80%未満
 【D】遅れ……………達成度の割合が60%未満

指標 No.	政策項目	目指す姿指標（主指標◎）	単位	H26 現状	H28			
	具体的な推進方策	推進方策指標（主指標◎）			目標	実績	達成度	KPI
目指54	No.24児童生徒の学力向上	◎学習定着度状況調査（小学校5年生・中学校2年生）及び基礎力確認調査（高校2年生）において、「授業の内容が分かる」と答えた児童生徒の割合	%	69	71	72	A	
目指55		◎学校の学びを基に授業時間以外の学習に自立的に取り組む児童生徒の割合（小学校5年生・中学校2年生・高校2年生） 2時間以上	%	18	19	19	A	
目指56		◎学校の学びを基に授業時間以外の学習に自立的に取り組む児童生徒の割合（小学校5年生・中学校2年生・高校2年生） 1時間未満	%	39	38	38	A	
推進201	(1)国語・数学（算数）・英語を核とした学校組織全体の取組による児童生徒の学力向上	学習定着度状況調査結果及び基礎力確認調査結果について目標を設定し計画的に取り組んでいる学校の割合（小学校）	%	—	95	97	A	
推進202		◎学習定着度状況調査結果及び基礎力確認調査結果について目標を設定し計画的に取り組んでいる学校の割合（中学校）	%	—	93	95	A	
推進203	(2)授業改善の推進と家庭学習の充実	学習定着度状況調査結果及び基礎力確認調査結果について目標を設定し計画的に取り組んでいる学校の割合（高等学校）	%	—	95	98	A	
推進204		学習状況調査等の結果を活用し、学力向上など自校の教育活動を改善した学校の割合（小学校）	%	—	84	98	A	
推進205		◎学習状況調査等の結果を活用し、学力向上など自校の教育活動を改善した学校の割合（中学校）	%	—	84	98	A	
推進206		学習状況調査等の結果を活用し、学力向上など自校の教育活動を改善した学校の割合（高等学校）	%	—	84	97	A	
推進207		学習に関する状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的によく取り組んでいる学校の割合（小学校）	%	—	60	96	A	
推進208		学習に関する状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的によく取り組んでいる学校の割合（中学校）	%	—	50	94	A	
推進209		学習に関する状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的によく取り組んでいる学校の割合（高等学校）	%	—	50	98	A	
推進210		授業内容の理解を促進する家庭学習の課題（宿題）を計画的に出している学校の割合（小学校）	%	93	94	99	A	
推進211		授業内容の理解を促進する家庭学習の課題（宿題）を計画的に出している学校の割合（中学校）	%	90	93	98.2	A	
推進212		授業内容の理解を促進する家庭学習の課題（宿題）を計画的に出している学校の割合（高等学校）	%	93	94	96.8	A	

指標 No.	政策項目		単位	H26 現状	H28				
	具体的な推進方策	目指す姿指標（主指標◎）			目標	実績	達成度	KPI	
推進213		言語活動に学校全体で積極的に取り組んでいる学校の割合（小学校）	%	26	30	—	—		
推進214		言語活動に学校全体で積極的に取り組んでいる学校の割合（中学校）	%	19	25	—	—		
推進215		少人数教育に係る加配の実現率	%	84.0	86.0	86.2	A	150	
推進216	(3)特色ある教育課程の編成	各学校が設定した進路目標を達成した高等学校の割合	◆	%	97	95	95.3	A	
推進217	(4)「いわてキャリア教育指針」に基づくキャリア教育の実践	インターンシップを継続して実施した全日制高等学校の割合	%	78	80.0	84.1	A	160	
推進218		キャリア教育全体計画に沿って地域や保護者と連携し職場体験（2日以上）を実施した中学校の割合	%	—	79.0	79.1	A	161	

目指57	No.25豊かな心を育む教育の推進	◎人の気持ちが分かる人間になりたいと思っている児童生徒の割合	%	75.0	77.0	—	—	
目指58		自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合	%	65.0	66.0	67.1	A	
推進221	(1)道徳教育、体験活動・読書活動等の推進	◎「特別の教科 道徳」の実施に向けた授業改善に取り組んでいる学校の割合（小学校）	%	—	60	59	B	
推進222		◎「特別の教科 道徳」の実施に向けた授業改善に取り組んでいる学校の割合（中学校）	%	—	40	52	A	
推進223		児童生徒の読書者率の向上（小学校）	%	99.3	99.5	99.0	D	
推進224		児童生徒の読書者率の向上（中学校）	%	90.0	90.4	93.0	A	
推進225		児童生徒の読書者率の向上（高等学校）	%	66.7	68.0	72.8	A	
推進226	(2)家庭・地域との協働の充実	保護者や地域の方が学校における教育活動や様々な活動に参加している学校の割合（小学校）	%	72	76	—	—	
推進227		保護者や地域の方が学校における教育活動や様々な活動に参加している学校の割合（中学校）	%	53	60	—	—	
推進228	(3)いじめなどに対応した教育相談機能の充実	不登校児童生徒数（小学校）	▼	人	143	139	—	—
推進229		◎不登校児童生徒数（中学校）	▼	人	791	775	—	—
推進230		不登校児童生徒数（高等学校）	▼	人	555	543	—	—
推進231		いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う児童生徒の割合（小学校）	%	84	86	85.9	B	
推進232		◎いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う児童生徒の割合（中学校）	%	75	77	79.1	A	
推進233	(4)幼児児童生徒の心のサポートの充実	臨床心理士等による心のサポートを行っている沿岸部の学校の割合	◆	%	100	100	100	A
推進234	(5)情報モラル教育の推進	情報モラル教育の推進を実施している学校の割合	◆	%	100	100	100	A

指標 No.	政策項目	目指す姿指標（主指標◎）	
	具体的な推進方策	推進方策指標（主指標◎）	
目指59	No.26健やかな体を育む教育の推進	◎体力・運動能力調査の総合評価（5段階：A～E）のA・B・C段階の児童生徒の割合（小学校5年生・中学校2年生）	
目指60		「定期健康診断」の肥満度が正常の範囲内の児童生徒の割合（小学校5年生・中学校2年生）	
推進237		(1) 体力向上や運動に親しむ環境づくり	体力・運動能力向上に係る目標を設定している学校の割合（小学校）
推進238			体力・運動能力向上に係る目標を設定している学校の割合（中学校）
推進239		(2) 健康教育の充実	児童生徒の肥満防止に取り組んでいる学校の割合（小学校）
推進240			児童生徒の肥満防止に取り組んでいる学校の割合（中学校）
推進241		(3) 指導者の資質向上・授業力向上	体力・運動能力向上に係る研修等の機会を設定している学校の割合（小学校）
推進242			体力・運動能力向上に係る研修等の機会を設定している学校の割合（中学校）

単位	H26 現状	H28			
		目標	実績	達成度	KPI
%	79.7	79.7	80.1	A	
%	85.9	86.1	86.4	A	
%	89.5	90.5	96.4	A	
%	65.4	67.0	89.0	A	
%	98.5	99.0	99.1	A	
%	75.0	78.0	93.3	A	
%	—	86.0	91.9	A	
%	—	64.0	76.8	A	

目指61	No.27特別支援教育の充実	◎特別な支援を必要とする児童生徒について「個別の教育支援計画」を作成している学校の割合	
目指62		特別支援学校における交流学习等により地域の学校との交流を行っている児童生徒数（延べ人数）	
推進243		(1) 就学前及び小・中学校、高等学校における特別支援教育の充実	就学に向けた「支援ファイル」等を活用する市町村数
推進244			◎特別支援教育に関する研修を受講した幼稚園、小・中学校の教員の割合
推進245		特別支援教育に関する研修を受講した高等学校の教員の割合	
推進246		(2) 特別支援学校における教育の充実	◎ICT活用研修会の実施、実践事例集を作成した学校数
推進247			医療的ケア研修会に参加した看護師の割合
推進248		(3) 県民と協働した特別支援教育体制づくり	特別支援ボランティアの述べ登録者数
推進249	(4) 特別支援学校における就職支援	特別支援学校高等部の就職希望者のうち、就職した生徒の割合	

%	81	89	89	A	
人	491	1,000	1,564	A	
市町村	29	33	32	C	
%	88	92	93	A	
%	96	100	100	A	
校	0	14	14	A	
%	47	75	69	C	
人	106	115	210	A	
%	99.0	99.4	100	A	

指標 No.	政策項目 具体的な推進方策	目指す姿指標（主指標◎）		単位	H26 現状	H28			
		推進方策指標（主指標◎）				目標	実績	達成度	KPI
目指63	No.28家庭・地域との協働による 学校経営の推進	◎学校評価結果等を踏まえて学校運営方針や重点項目等を見直し、組織的に学校経営の改善に取り組んでいる学校の割合		%	—	80	96.4	A	
目指64		教育計画の中に様々な自然災害等に「そなえる」教育活動（防災教育）を具体的に取り入れて再構築した学校の割合		%	—	80	100	A	146
推進250	(1) 目標達成型の学校経営の推進	◎学校評価の結果の分析に取り組んでいる市町村数		市町村	9	16	27	A	
推進251		学校評価（学校関係者評価）の結果等を地域等に公表、報告している学校の割合（小学校）		%	69.8	80	96.1	A	
推進252		学校評価（学校関係者評価）の結果等を地域等に公表、報告している学校の割合（中学校）		%	64.8	80	95.1	A	
推進253		学校評価（学校関係者評価）の結果等を地域等に公表、報告している学校の割合（県立学校）		%	83.2	90	100	A	
推進254	(2) 学校と家庭・地域との協働の推進	教育振興運動各実践区等で全県共通課題の「情報メディア」に関する活動に取り組んでいる割合		%	19.7	60.0	75.9	A	
推進255	(3) 実践的な防災教育（【そなえる】）を中核とした「いわての復興教育」の推進	「いわての復興教育」に取り組んでいる学校の割合	◆	%	100	100	100	A	145
推進256		防災教育（【そなえる】）の授業実践に取り組んだ学校の割合		%	50	80	99.1	A	147

議10-40

目指65	No.29生涯を通じた学びの環境づくり	◎生涯学習リーダー登録者数（累計）		人	730	770	771	A	166
目指66		生涯学習に関する研修会等への参加者数		人	6,194	6,600	10,284	A	167
推進257	(1) 学習活動を支援する環境の充実	◎生涯学習情報提供システム利用件数（システムトップページへのアクセス数）		件	23,710	26,080	48,584	A	
推進258		生涯学習・社会教育の推進に携わる関係職員の人材育成事業の満足度（参加者満足度4段階評価A「大いに満足」の割合）	◆	%	—	80	81	A	
推進259	(2) 生涯にわたる学習機会の充実	◎ボランティア等のネットワークを図る研修会の満足度（参加者満足度4段階評価A「大いに満足」の割合）	◆	%	—	80	82	A	

指標 No.	政策項目	目指す姿指標（主指標◎）	単位	H26 現状	H28			
	具体的な推進方策	推進方策指標（主指標◎）			目標	実績	達成度	KPI
—	No.32多様な文化の理解と国際交流	—	—	—	—	—	—	—
推進274	(2)海外とのネットワークの形成	イングリッシュ・キャンプに参加して英語コミュニケーション能力の向上を実感した生徒の割合	%	—	98	100	A	
推進275		海外派遣に参加して国際理解や国際感覚及びグローバルな視点を持つようになった生徒の割合	%	—	98	100	A	
—	No.38安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備	—	—	—	—	—	—	—
推進331	(2)地震・洪水・土砂災害対策の推進	県立学校の耐震化率	%	97.8	98.2	98.2	A	

- ◆：維持することを目標としている指標
- ▼：数値を下げることを目標としている指標

◎目指す姿指標

	指標数	割合
A	12	100.0%
B	0	0.0%
C	0	0.0%
D	0	0.0%
未確定	1	—
計	13	—

◎具体的な推進方策指標

	指標数	割合
A	46	90.2%
B	2	3.9%
C	2	3.9%
D	1	2.0%
未確定	7	—
計	58	—

